



一般選拔用
入学者選拔要項
[2025年度]



静岡理工科大学

目 次

募集人員、入学者選抜日程	p1	受験上の注意	p36
試験会場案内	p2	旧教育課程履修者の令和7年度大学入学	
給費型奨学生制度	p3	共通テストに係る選択科目について	p36
出願について	p4	追加合格について	p36
書類を利用した試験科目とその評価について	p5	合否案内サービス(PASS-TEL)について	p37
WEB出願の流れ	p6	入学手続について	p38
入学者選抜要項		日本学生支援機構の給付奨学金について	p39
公募制 給費奨学生	p10	本学内における併願のルールについて	p40
一般前期(A)	p12	入学検定料割引制度	p40
一般前期(B)	p14	建学の精神と基本理念	p43
一般前期(A)共通テストプラス	p16	アドミッションポリシー	p43
一般前期(B)共通テストプラス	p16	カリキュラムポリシー	p44
一般後期(A)	p18	ディプロマポリシー	p45
一般後期(B)	p20	記入例	
一般後期(A)共通テストプラス	p22	活動報告書	p49
一般後期(B)共通テストプラス	p22		
前期共通テスト利用(S)	p24	【出願用書類】	
前期共通テスト利用(A)	p26	活動報告書(様式B)	
前期共通テスト利用(B)	p28		
後期共通テスト利用(A)	p30	個人情報の取扱いについて	巻末
後期共通テスト利用(B)	p32		
データサイエンス専攻入学者選抜 該当試験	p34		

募集人員

学部・学科・専攻	選抜区分 選抜種別	募集定員	学校推薦型選抜				総合型選抜		一般選抜						特別 留学生 社会人 帰国生
			指定校 推薦	専門 総合 給費 奨学生 推薦	公募制 一般 推薦	公募制 自己 推薦	公募制 給費 奨学生 全学統一 方式	学科別 専願 方式	本学一般 入学者選抜		一般入学者選抜 + 共通テストプラス		共通テスト利用 入学者選抜		
									前期 (A) (B)	後期 (A) (B)	前期 (A) (B)	後期 (A) (B)	前期 (S) (A) (B)	後期 (A) (B)	
理工学部	機械工学科	80	20	10	6	2	30	10	14	2	2	2	12	2	2
	電気電子工学科	70	18		5	2		10	11	2	2	2	8	2	2
	物質生命科学科	60	14		3	2		10	9	2	2	2	6	2	2
	建築学科	50	10		2	2		10	6	2	2	2	6	2	2
	土木工学科	50	10		2	2		10	6	2	2	2	6	2	2
情報学部	※学部一括募集	140	30		10	4		20	22	2	2	2	29	3	2
	内、データサイエンス専攻	(15)	—	—	—	—	(2)	—	—	—	—	—	(S) (A) (12)	(A) (1)	—
合計		450	102	10	28	14	30	70	68	12	12	12	67	13	12

2025年度生 入学者選抜日程

区分	学部	入学者選抜種別	試験日	試験会場	出願方法	出願期間	結果通知日	入学金 納入締切日
学校推薦型選抜	理工 情報	指定校推薦	11月16日(土)	本学	郵送	2024年11月1日(金)～11月7日(木) 消印有効	12月3日(火)	12月18日(水)
		専門高校・総合学科給費奨学生推薦						
		公募制一般推薦						
		公募制自己推薦						
総合型	全学統一方式	公募制給費奨学生	12月14日(土)	本学 沼津 甲府	WEB	2024年11月25日(月)～12月5日(木) 正午まで	12月21日(土)	2月25日(火)
	学科別	学科別 専願方式	学科毎 異なる	本学	郵送	期毎 異なる 詳細は本学受験生サイトから確認のこと。		
本学一般	理工 情報	一般前期(A)・(B)	2月1日(土) 2月2日(日) 2月3日(月)	本学 沼津 静岡 名古屋 *1	WEB	2025年1月6日(月)～1月20日(月) 正午まで	2月15日(土)	2月25日(火)
		一般後期(A)・(B)	3月5日(水)	本学	WEB	2025年2月3日(月)～2月25日(火) 正午まで	3月15日(土)	3月24日(月)
*2 共通テストプラス	理工 情報	一般前期(A)・(B) 共通テストプラス	一般前期を 受験すること		WEB	2025年1月6日(月)～1月20日(月) 正午まで	2月15日(土)	2月25日(火)
		一般後期(A)・(B) 共通テストプラス	一般後期を 受験すること		WEB	2025年2月3日(月)～2月25日(火) 正午まで	3月15日(土)	3月24日(月)
大学入学 共通テスト利用	理工 情報	前期共通テスト利用(S)	個別試験は 課さない	-	WEB	2025年1月6日(月)～1月17日(金) 正午まで	2月15日(土)	2月25日(火)
		前期共通テスト利用(A)	個別試験は 課さない		WEB	2025年1月6日(月)～1月26日(日) 正午まで	2月15日(土)	2月25日(火)
		前期共通テスト利用(B)	個別試験は 課さない		WEB	2025年2月17日(月)～3月9日(日) 正午まで	3月15日(土)	3月24日(月)
		後期共通テスト利用(A)	個別試験は 課さない					
後期共通テスト利用(B)	個別試験は 課さない							

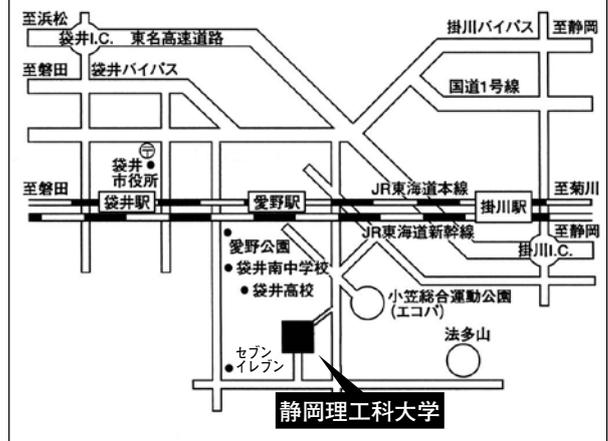
*1 試験日より実施会場が異なる。一般選抜用入学者選抜要項及び本学受験生サイト参照。

*2 共通テストプラスは、同時期の本学一般の受験結果に2025年の大学入学共通テストの対象教科の結果を1科目プラスして判定を行う。

試験会場案内

種別・試験日	会場	本学 会場	沼津 会場	甲府 会場	静岡 会場	名古屋 会場
公募制 給費型 奨学生	12/14(土)	○	○	○		
一般前期 (A)・(B)	2/1(土)	○	○		○	○
	2/2(日)	○	○		○	○
	2/3(月)	○				
一般後期 (A)・(B)	3/5(水)	○				

本学会場

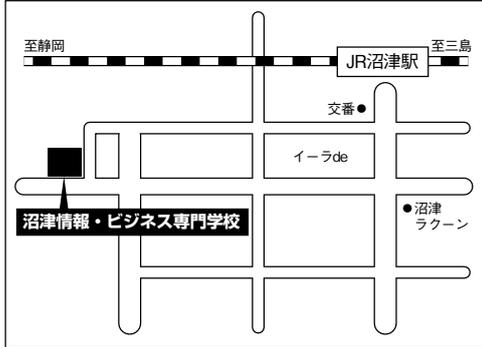


会場 静岡理科大学 静岡県袋井市豊沢2200-2

交通 ・JR「愛野」駅南口よりシャトルバスで約6分
 ・バスの運行時間（JR愛野駅南口→本学）については本学受験生サイトで確認すること。

実施日 12/14(土), 2/1(土), 2/2(日), 2/3(月), 3/5(水)

沼津会場

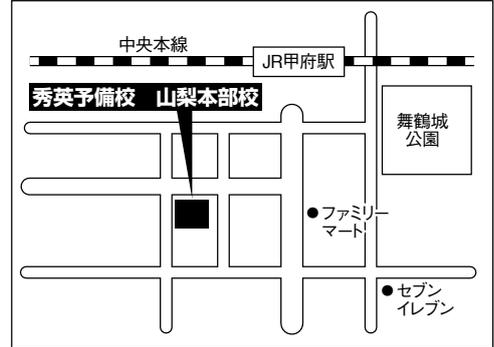


会場 沼津情報・ビジネス専門学校
静岡県沼津市西条町17-1

交通 ・JR「沼津」駅南口より西へ徒歩5分

実施日 12/14(土), 2/1(土), 2/2(日)

甲府会場

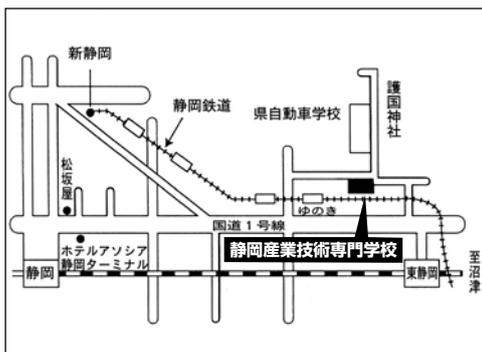


会場 秀英予備校 山梨本母校
山梨県甲府市丸の内2-15-12

交通 ・JR「甲府」駅南口より南へ徒歩5分

実施日 12/14(土)

静岡会場

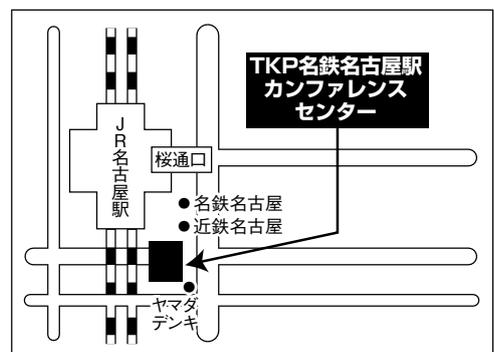


会場 静岡産業技術専門学校
静岡県静岡市葵区宮前町110-11

交通 ・JR「東静岡」駅北口より西へ徒歩15分
 ・静岡鉄道「榎木」駅より東へ徒歩3分

実施日 2/1(土), 2/2(日)

名古屋会場



会場 TKP名鉄名古屋駅カンファレンスセンター
愛知県名古屋市中村区名駅1-2-4
名鉄バスターミナルビル9階

交通 ・JR「名古屋」駅広小路口より南へ徒歩5分

実施日 2/1(土), 2/2(日)

静岡理工科大学 給費型奨学生制度 (返還義務なし)

対象となる選抜種別内での成績が特に優秀な受験生に対し、勉学奨励を目的として、授業料給付の特典が与えられる奨学生制度。

□ 奨学生採用区分と対象入学選考・枠

■ 授業料 100 万円給費奨学生【授業料サポート 100】

*最大4年間400万円給費(学年末に更新審査有:継続条件—在籍学科の成績上位20%以内)

● 対象選抜種別と採用枠

- ・「一般前期 (A)」の成績優秀者として成績上位の者を採用
- ・「一般前期 (A) 共通テストプラス」の成績優秀者として成績上位の者を採用
- ・「前期共通テスト利用 (S)」及び「前期共通テスト利用 (A)」の成績優秀者として成績上位の者を採用
【採用枠:上記選考より最大30名を目標】

■ 授業料 50 万円給費奨学生【授業料サポート 50】

*最大4年間200万円給費(学年末に更新審査有:継続条件—在籍学科の成績上位25%以内)

● 対象選抜種別と採用枠

- ・「公募制 給費奨学生」の成績優秀者【採用枠:最大30名を目標】
- ・「前期共通テスト利用 (S)」の合格者の内、合計得点率60%以上の者を採用【採用枠:人数制限なし】
- ・「前期共通テスト利用 (A)」の合格者の内、合計得点率65%以上の者を採用【採用枠:人数制限なし】
★データサイエンス専攻のみ「後期共通テスト利用 (A)」も対象。(p34参照のこと)

□ チャレンジ制度

■ 給費奨学生

指定校推薦、専門高校・総合学科給費奨学生推薦、公募制一般推薦、公募制自己推薦といった学校推薦型選抜や総合型選抜の合格者が、入学の権利を保持した(入学手続完了者の)まま、給費型奨学生の対象選考【公募制 給費奨学生、一般前期 (A)、一般前期 (A) 共通テストプラス、前期共通テスト利用 (S)、前期共通テスト利用 (A)】にチャレンジできる制度を導入。

この制度で給費型奨学生に採用された場合には、納入済みの費用の差額が返還される。

■ コンピュータシステム学科 データサイエンス専攻

学校推薦型選抜や総合型選抜の情報学部合格者は、入学の権利を保持した(入学手続完了者の)まま、データサイエンス専攻の対象選考【公募制 給費奨学生、前期共通テスト利用 (S)、前期共通テスト利用 (A)、後期共通テスト利用 (A)】にチャレンジすることも可能。

この制度で給費型奨学生に採用された場合には、納入済みの費用の差額が返還される。

出願について

本学の一般選抜への出願方法は「WEB出願」のみです。本学受験生サイトのWEB出願のバナーより利用可能 (p6-9 参照)

■ 出願上の注意

本学のWEB出願は出願締切日と書類提出締切日が異なるのでよく確認すること。

各選考ページと、WEB出願の流れ (p6-9) を参照し、出願すること。

出願書類に不足または不備がある場合および期限を過ぎたものは受理できない。

結果の通知を出身高等学校等を行うことを了承すること。

一旦受理した書類はいかなる事由においても返還できない。

■ 出願資格

次の(1)(2)(3)いずれかの条件を充たす者

(1) 高等学校(中等教育学校を含む)を卒業した者及び2025年3月に卒業見込みの者

(2) 特別支援学校の高等部又は高等専門学校(3年次)を修了した者及び2025年3月に卒業見込みの者

(3) 高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び2025年3月31日までにこれに該当する見込みの者
で、次の①～⑥のいずれかに該当する者

① 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び2025年3月31日までに修了見込みの者又はこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定した者

② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定または指定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び2025年3月末までに修了見込みの者

③ 専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び2025年3月31日までに修了見込みの者

④ 文部科学大臣の指定した者

⑤ 高等学校卒業程度認定試験(大学入学資格検定含む)に合格した者及び2025年3月末までに合格見込みの者で2025年3月31日までに18歳に達する者

⑥ 本学において、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2025年3月31日までに18歳に達する者

■ 入学検定料支払いに際しての注意

選択した支払い方法に基づき支払うこと。いずれの場合も振込手数料は本人負担となること。

一旦納入した入学検定料はいかなる事由においても返還できないこと。

領収書など志願者が保管すべき書類は大切に保管すること。

■ 出願期間と検定料振込期限、書類提出期限

選考区分	WEB出願期間	検定料振込期限	書類提出期限
公募制 給費奨学生	2024年11月25日(月)10時から -12月5日(木)正午まで	12月5日(木)	郵送の場合12月10日(火)必着 (試験日当日持参も可能)
一般前期(A) 一般前期(A)共通テストプラス 一般前期(B) 一般前期(B)共通テストプラス	2025年1月6日(月)10時から -1月20日(月)正午まで	1月20日(月)	郵送の場合1月23日(木)必着 (試験日当日持参も可能)
一般後期(A) 一般後期(A)共通テストプラス 一般後期(B) 一般後期(B)共通テストプラス	2025年2月3日(月)10時から -2月25日(火)正午まで	2月25日(火)	郵送の場合2月27日(木)必着 (試験日当日持参も可能)
前期共通テスト利用(S)	2025年1月6日(月)10時から -1月17日(金)正午まで	1月17日(金)	1月30日(木)必着のこと
前期共通テスト利用(A) 前期共通テスト利用(B)	2025年1月6日(月)10時から -1月26日(日)正午まで	1月26日(日)	1月30日(木)必着のこと
後期共通テスト利用(A) 後期共通テスト利用(B)	2025年2月17日(月)10時から -3月9日(日)正午まで	3月9日(日)	3月11日(火)必着のこと

■ 出願方法



書類を利用した試験科目とその評価について

☆公募制 給費奨学生についてはp10-11を参照

一般選抜において、合否ボーダーライン付近の受験者については、調査書(配点5点)と活動報告書(配点5点 提出は任意)を加点し、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価に加えた形での判定を行う。

審査に使用する書類(調査書を除く)は本誌添付の様式を利用するか、本学受験生サイト入試情報より、書式データをダウンロードすること。

□ 一般選抜における書類審査A(調査書)の評価

学習成績概評に基づき次の5段階で評価を行う。

A=5点 B=4点 C=3点 D=2点 E=1点

ただし、学習成績概評の記載がない書類(卒業証明書、成績証明書、合格成績証明書等)については評価対象としない。

また、感染症等に伴う臨時休業により、学習成績概評の記載ができない場合は、出願時点において記載できる最も新しい学習成績概評に読み替えるものとする。

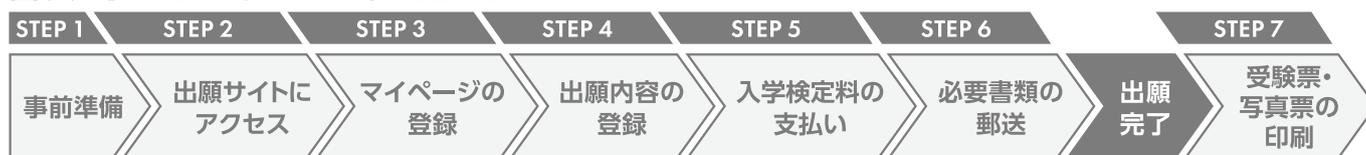
□ 一般選抜における活動報告書の評価 p49-50の「活動報告書記入例」を確認すること

本学指定用紙(様式B)に記載された次の項目【評価点各1点】についての評価を行う。

- I 高度な技術や能力を持つ者(資格・検定)
- II 社会的活動を通じて高い評価を得ている者
- III 課外活動等さまざまな分野で高い評価を得ている者(発表会・コンテスト・競技会)
- IV その他具体的な事例で示すことのできる特長を持った者
- V プラス評価 上記4項目の内、同一項目内に複数の違う分野での活動実績が認められる者に【評価点1点を加点】する

WEB出願の流れ

出願完了までの流れは、以下の通りです



STEP
1

事前準備

インターネットに接続されたパソコン、プリンターなどを用意してください。
必要書類※は、発行まで時間を要する場合があります。早めに準備を始め、出願前には必ず手元にあるようにしておいてください。

※必要書類… 調査書、写真、大学入学共通テスト成績請求票
令和7年度大学等奨学生採用候補者決定通知【提出用】のコピーなど

STEP
2

WEB出願サイトにアクセス

WEB出願サイト ▶ <https://e-apply.jp/ds/sist-net/>

STEP
3

マイページの登録

画面の手順に従って、必要事項を入力してマイページ登録を行ってください。
なお、マイページの登録がお済みの方は、STEP4に進んでください。

- ① 初めて登録する方は **マイページ登録** からログインしてください。
- ② メールアドレスの登録を行って **仮登録メールを送信** をクリックしてください。
- ③ ユーザー登録画面から **ログインページへ** をクリックしてください。
- ④ 登録したメールアドレスに初期パスワードと本登録用URLが届きます。
※@e-apply.jpのドメインからのメールを受信できるように設定してください。
- ⑤ ログイン画面から登録したメールアドレスと④で届いた『初期パスワード』にて **ログイン** をクリックしてください。
- ⑥ 初期パスワードの変更を行ってください。
- ⑦ 表示された個人情報を入力して **次へ** をクリックしてください。
- ⑧ 個人情報を確認して **この内容で登録する** をクリックしてください。



⑨登録完了となります。
マイページへ を
クリックしてください。



⑩上記ページが表示されたら
マイページ登録は完了です。

※出願受付中の場合のみ、出願手続きを行う ボタンをクリックすると出願手続に進めます。
登録期間外の場合は、これより先に進めませんので ログアウト ボタンをクリックしてください。

STEP

4

出願内容の登録

画面の手順や留意事項を必ず確認して、画面に従って必要事項を入力してください。



①マイページログイン後の
出願手続きを行う ボタン
から登録画面へ



②入試選択と留意事項の確認



③志望学部等の選択



④個人情報(氏名・住所等)の
入力



⑤出願内容の確認



⑥申込登録完了
引き続き支払う ボタンを
クリックし検定料のお支払い画面へ。



⑦入学検定料の支払い方法
●コンビニエンスストア
●ペイジー対応銀行ATM
●ネットバンキング ●クレジットカード



⑧出願に必要な書類PDF
(イメージ)
※検定料納入後に出力可能となります。

入学検定料の支払い方法で「コンビニエンスストア」または「ペイジー対応銀行ATM」を選択された方は、支払い方法の
選択後に表示されるお支払いに必要な番号を下記メモ欄に控えたうえ、通知された「お支払い期限」内にコンビニエンス
ストアまたはペイジー対応銀行ATMにてお支払いください。

セブン-イレブンの場合

払込票番号 メモ(13桁)													
------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

デイリーヤマザキ、セイコーマートの場合

オンライン決済 番号メモ(11桁)										
----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

ローソン、ミニストップ、ファミリーマート、
ペイジー対応銀行ATMの場合

お客様番号 メモ(11桁)										
確認番号 メモ(6桁)										
収納機関番号 (5桁)	5	8	0	2	1					

※収納機関番号は、ペイジーで
お支払いの際に必要となります。

申込登録完了後に確認メールが送信されます。メールを受信制限している場合は、送信元(@e-apply.jp)からのメール受信を
許可してください。 ※確認メールが迷惑フォルダなどに振り分けられる場合がありますので、注意してください。



申込登録完了後は、登録内容の修正・変更ができませんので誤入力のないよう注意してください。ただし、入学検定料支払い前であれば正しい出願
内容で再登録することで、実質的な修正が可能です。

※「入学検定料の支払い方法」でクレジットカードを選択した場合は、出願登録と同時に支払いが完了しますので注意してください。

入学検定料の支払い

1 クレジットカードでの支払い

出願内容の登録時に選択し、支払いができます。

【ご利用可能なクレジットカード】

VISA、Master、JCB、AMERICAN EXPRESS、MUFGカード、DCカード、UFJカード、NICOSカード



出願登録時に支払い完了

2 ネットバンキングでの支払い

出願内容の登録後、ご利用画面からそのまま各金融機関のページへ遷移しますので、画面の指示に従って操作し、お支払いください。

※決済する口座がネットバンキング契約されていることが必要です

WEBで手続き完了

3 コンビニエンスストアでの支払い

出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、コンビニエンスストアでお支払いください。

- レジで支払い可能
- 店頭端末を利用して支払い可能



4 ペイジー対応銀行ATMでの支払い

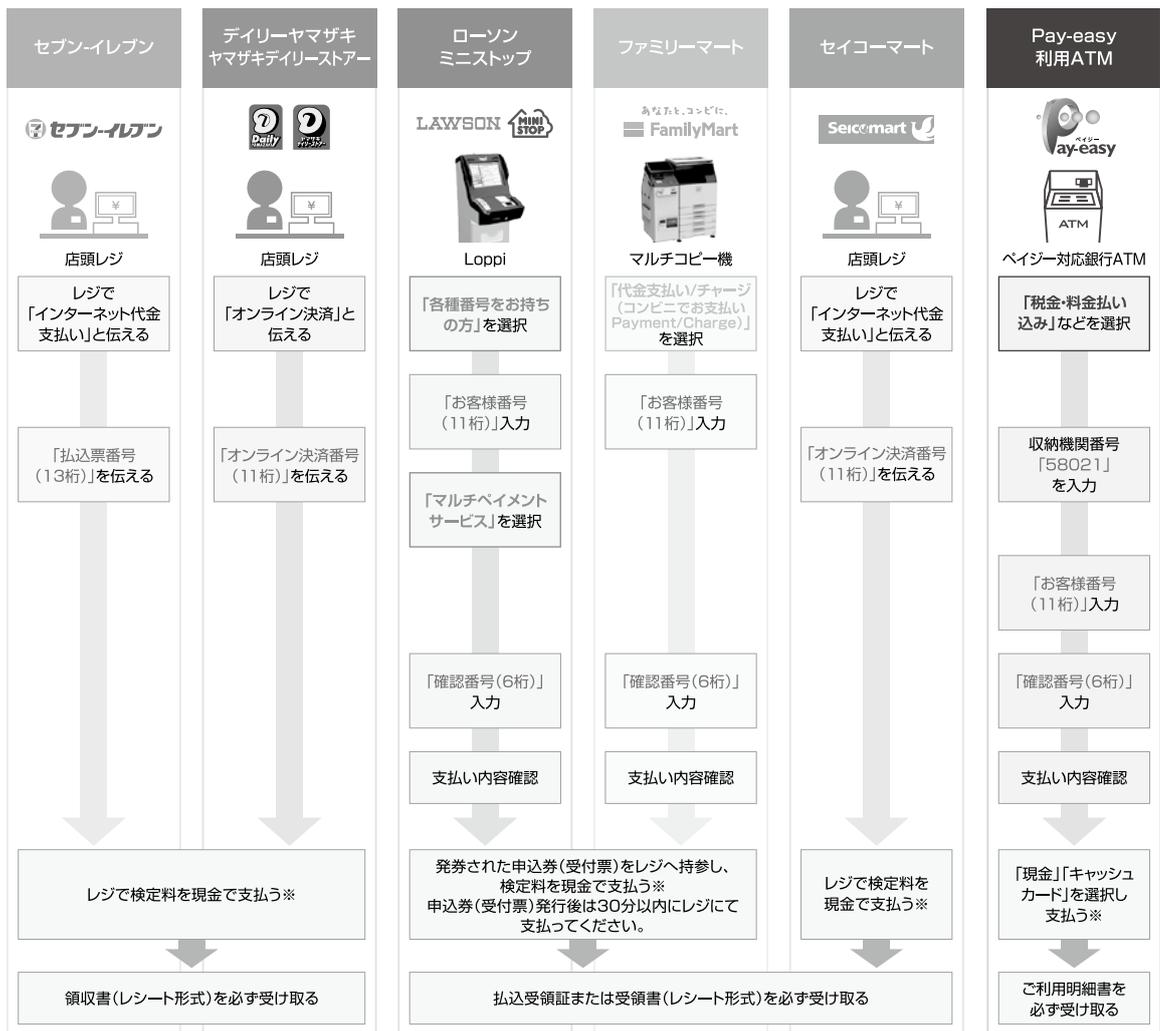
出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、ペイジー対応銀行ATMにて画面の指示に従って操作のうえお支払いください。



※利用可能な銀行は「支払い方法選択」画面で確認してください。

各コンビニ端末画面・ATMの画面表示に従って必要な情報を入力し、内容を確認してから入学検定料を支払ってください。

3 コンビニエンスストア



※ゆうちょ銀行・銀行ATMを利用する場合、現金で10万円を超える場合はキャッシュカードで支払ってください。コンビニエンスストアを利用の場合は現金で30万円までの支払いとなります。

STEP

6

必要書類の印刷と郵送

登録だけでは出願は完了していませんので注意してください。

出願登録、入学検定料の支払後にダウンロードできる書類を印刷し、その他の必要書類と併せて提出期限までに郵便局窓口から「簡易書留速達郵便」で郵送してください。※書類提出期限(必着)。



送付先

〒437-8555 袋井郵便局私書箱第35号
静岡理科大学 入試本部 行

■ 出願書類

詳細は一般選抜用入学者選抜要項「出願書類」を確認してください。

※出願受理した入学検定料・必要書類は一切返却しません。

「WEB志願票」の印刷方法



- マイページに表示された「志願票(印刷)」のボタンをクリックしてください。
- お支払いが正常に完了すると「志願票(印刷)」のボタンをクリックできるようになりWEB志願票の出力ができます。

〈出願完了〉

出願時の
注意点

出願はWEB出願サイトでの登録完了後、入学検定料を支払い、必要書類を郵送して完了となります。登録が完了しても出願書類の提出期限に書類が届かなければ出願を受理できませんので注意してください。

WEB出願は24時間可能です。ただし、出願登録は出願締切日12時まで、入学検定料の支払いは出願締切日まで(営業時間はコンビニエンスストアやATMなど、施設によって異なります)、必要書類の郵送は書類提出期限(必着)です。ゆとりを持った出願を心がけてください。

STEP

7

受験票・写真票の印刷

本学で出願を確認後、各入試毎に出願期間受付終了後から試験前日までに一斉に受験票・写真票を配信します。インターネット出願システムよりダウンロードできる状態にしますので、必ず印刷し、受験票・写真票ともに試験当日持参してください(※郵送はいたしません)。

※受験票のダウンロードが可能になりましたら、出願時に登録したアドレスへメールで通知します。

※写真票には写真(4×3cm)を貼付すること。

【印刷に関する注意事項】 受験票は必ずA4用紙に片面印刷にしてください。



※写真は4×3cm
※写真票に貼付すること

公募制 給費奨学生

☆給費型奨学生制度対象入学者選抜 (p3参照)

(総合型選抜・全学統一方式)

給費型奨学生採用区分と枠

- ・授業料50万円給費奨学生 成績上位者から最大30名を目処に採用(最長4年間200万円給費*更新条件有)
- ・奨学生採用枠から漏れた場合は原則一般選抜の基準で合否判定する

募集学部・学科 *募集人数はp1参照のこと

- [理工学部] 機械工学科、電気電子工学科、物質生命工学科、建築学科、土木工学科 (学科単位の募集)
[情報学部] コンピュータシステム学科、情報デザイン学科 (学部一括募集)
コンピュータシステム学科 データサイエンス専攻 (専攻単位の募集)

出願資格 p4に記載の出願資格を充たす者

選考日程

選考区分	WEB出願期間	出願書類提出	試験日	結果通知日	入学金納付期間	授業料納付期間
公募制 給費奨学生	2024年11月25日(月) 10時から -12月5日(木)正午まで	12月10日(火)必着 (試験日当日持参も可能)	12月14日(土)	12月21日(土)	12月23日(月) -2025年2月25日(火)	12月23日(月) -2025年3月3日(月)

選考会場 *会場の詳細はp2参照のこと

- 本学会場 (静岡理科大学:袋井市豊沢2200-2)
沼津会場 (沼津情報・ビジネス専門学校:沼津市西条町17-1)
甲府会場 (秀英予備校 山梨本部校:甲府市丸の内2-15-12)

選考基準

大学入学後の学習に支障のない学力を有するかを学力試験により、評価・判定する。
高等学校での学修や活動状況も評価項目に含む。詳細は選考方法と試験時間の項目を参照のこと。

データサイエンス専攻は、以下の条件①②を充たす合格者を採用する。

- ①公募制 給費奨学生で、データサイエンス専攻に出願すること
- ②公募制 給費奨学生で、授業料50万円給費奨学生に採用(他学科の受験者を含め成績上位者30名を目処)されること

選考方法と試験時間 以下項目にて受験した者を判定する。

試験項目	内容	配点	時間
学力試験(数学)	数学I・数学II・数学A(場合の数と確率、図形の性質)・数学B(数列)・数学C(ベクトル)	150点	9:40-11:00 80分
学力試験(外国語)	英語(英語コミュニケーションI・英語コミュニケーションII)	100点	11:30-12:30 60分
書類審査	調査書(全体の学習成績の状況×2)	10点	-
	活動報告書(指定用紙の評価4項目に該当する事項を記入)	10点	-

○本学で課す学力試験においては、どちらの科目も記述式問題を含めて出題し、旧教育課程履修者にも不利の無い出題とする

書類を利用した試験科目とその評価について

●調査書

全体の学習成績の状況に基づき評価を行う。「全体の学習成績の状況」を2倍する。
ただし、感染症等に伴う臨時休業により、条件とする時期の全体の学習成績の状況の記載ができない場合は、出願時点において記載できる最も新しい全体の学習成績の状況に読み替えるものとする。

●活動報告書 p49-50の「活動報告書記入例」を確認すること

本学指定用紙(様式B)に記載された次の項目【評価点各2点、合計10点※1】についての評価を行う。

- I 高度な技術や能力を持つ者(資格・検定)
- II 社会的活動を通じて高い評価を得ている者
- III 課外活動等さまざまな分野で高い評価を得ている者(発表会・コンテスト・競技会)
- IV その他具体的な事例で示すことのできる特長を持った者
- V プラス評価 上記4項目の内、同一項目内に複数の違う分野での活動実績が認められる者に【評価点2点を加点】する

※1 「書類審査 調査書」において、全体の学習成績の状況の記載がない書類(卒業証明書、成績証明書、合格成績証明書)を提出した場合、代わりに「活動報告書」を評価する(配点20点)

その他 学部を問わず、第2志望学科(もしくは学部)まで志願票へ記入することができる。他大学との併願が可。

出願方法

WEB出願でのみ受付。本誌p6-9に記載の要領に沿って出願すること。

入学検定料

基本30,000円

複数受験割引有。詳細はp40の「入学検定料割引制度」を参照。

なお、入学検定料は12月5日までに納付のこと。(営業時間はコンビニエンスストアやATMなど、施設によって異なる)

出願書類 p4「出願について」を確認すること

出願登録、入学検定料の支払い後にダウンロードできる書類(WEB志願票、宛名シート)を印刷し、以下の書類を宛名シートを貼付した封筒に入れ、簡易書留速達で送付(12月10日必着)のこと(試験日当日持参も可能)。

- WEB志願票 顔写真(4×3cm)を貼り付けること
- 調査書 高等学校長が作成し、厳封したもの。既卒者は成績証明書も可。
高等学校卒業程度認定試験の合格(見込)者は「合格(見込)成績証明書」を提出のこと。
- 活動報告書 本学所定の用紙一様式B
- 令和7年度大学等奨学生採用候補者決定通知【提出用】の写し(該当者のみ p39を参照)

受験票・写真票

本学で出願を確認後、各入試毎に出願期間終了後から試験前日までに一斉に配信。印刷し、必ず当日持参すること。詳細はp9を参照のこと。

結果通知

- 合格者には結果通知日(12月21日)当日、合格通知書(入学手続関係書類含む)を日本郵便のレターパックで送付する。
なお、不合格者には通知しないので注意すること。
- 給費型奨学生に採用された場合には、その旨と採用区分が合格通知書に記載される。
- 本学構内での掲示による発表は行わない
- 合否結果を、スマートフォン、パソコンを利用した「合否案内サービス(PASS-TEL)」でも通知。利用方法についてはp37を参照すること。

□ 給費型奨学生採用区分と枠

- 授業料100万円給費奨学生
一般前期 (A) の成績優秀者として成績上位の者
(最大4年間400万円給費*更新条件有)
採用枠: 一般前期 (A)、一般前期 (A) 共通テストプラス、前期共通テスト利用 (S)、前期共通テスト利用 (A) の各選考合わせて最大30名を目処
- 奨学生採用枠から漏れた場合は、一般前期枠での判定となる。

□ 募集学部・学科 *募集人数はp1参照のこと

- [理工学部] 機械工学科、電気電子工学科、物質生命科学科、建築学科、土木工学科 (学科単位の募集)
[情報学部] コンピュータシステム学科、情報デザイン学科 (学部一括募集)

□ 出願資格 p4に記載の出願資格を充たす者

□ 選考日程

選考区分	WEB出願期間	出願書類提出	試験日	試験会場	結果通知日	入学金納付期間	授業料納付期間
一般前期 (A)	2025年1月6日(月) 10時から -1月20日(月)正午まで	1月23日(木)必着 (試験日当日持参 も可能)	2月1日(土) 2月2日(日) 2月3日(月)	本学(2/1,2,3) 静岡(2/1,2) 沼津(2/1,2) 名古屋(2/1,2)	2月15日(土)	2月17日(月) -2月25日(火)	2月17日(月) -3月3日(月)

*受験者は試験日と試験会場、選考方法を組み合わせ可能な範囲で選択することができる。

□ 選考会場 *会場の詳細はp2参照のこと

- 本学会場 (静岡理工科大学: 袋井市豊沢2200-2) 2月1日(土)・2日(日)・3日(月)
沼津会場 (沼津情報・ビジネス専門学校: 沼津市西条町17-1) 2月1日(土)・2日(日)
静岡会場 (静岡産業技術専門学校: 静岡市葵区宮前町110-11) 2月1日(土)・2日(日)
名古屋会場 (TKP名鉄名古屋駅カンファレンスセンター: 名古屋市中村区名駅1-2-4 名鉄バスターミナルビル9階)
2月1日(土)・2日(日)

□ 選考基準と選考方法

大学入学後の学習に支障のない学力を有するかを学力試験により、評価・判定する。
また、判定は試験日別に行うのではなく、出願学科(情報は学部)毎に3日間の総受験者の成績で判定する。
同一学科を複数回受験した場合には、指定教科数(3教科)の合計得点が高得点の試験日のものを判定の対象とする。
なお、試験日によって平均点に極端な差異がある場合には、得点調整を行う場合がある。
p12-13の学力試験教科・科目にて指定した科目から、指定教科数を受験した者を判定する。
合否ボーダーライン付近の受験者については、調査書の学習成績概評(配点5点満点)と活動報告書(提出任意、配点5点満点)を加点しての判定を行う。詳細はp5参照。

□ 学力試験教科・科目と試験時間(いずれの科目も記述式問題を含めて出題し、旧教育課程履修者にも不利の無い出題とする)

●理工学部(機械工学科、電気電子工学科、物質生命科学科、建築学科、土木工学科) 次の3教科で選考

教科	科目	配点	時間	
数学	数学I・数学II・数学A(場合の数と確率、図形の性質)・数学B(数列)・数学C(ベクトル)	150点	9:40-11:00	80分
理科 (1科目選択)	【物理基礎・物理】、【化学基礎・化学】、【生物基礎・生物】 の組み合わせから出願時に1つ選択	100点	11:30-12:30	60分
外国語	英語(英語コミュニケーションI・英語コミュニケーションII)	100点	13:30-14:30	60分

● 情報学部 次の4教科から出願時に3教科を選択

教科	科目	配点	時間	
数学	数学I・数学II・数学A(場合の数と確率、図形の性質)・数学B(数列)・数学C(ベクトル)	100点	9:40-11:00	80分
理科 (1科目選択)	【物理基礎・物理】、【化学基礎・化学】、【生物基礎・生物】 の組み合わせから出願時に1つ選択	100点	11:30-12:30	60分
外国語	英語(英語コミュニケーションI・英語コミュニケーションII)	100点	13:30-14:30	60分
国語	現代の国語・論理国語・文学国語	100点	15:00-16:00	60分

□ その他

- 理工学部は学部内で同日併願可。
一般前期(A)では、一日の受験で理工学部内の複数の学科に出願ができ、それぞれに対して判定を行う。
ただし、一般前期(B)【2教科受験型】や一般前期(B)共通テストプラスとの同日併願はできない。
- 一般前期(A)における併願可否について

志望順位	第2志望以降		
	志望学部・学科	理工学部各学科	情報学部
第1志望	理工学部各学科	○	△
	情報学部	△	—

○：併願可、△：試験日が異なれば併願可

- 追加合格について
合格者の入学手続き状況によって追加合格を実施する場合がある。詳細はp36を参照すること。

□ 出願方法

WEB出願でのみ受付。本誌p6-9に記載の要領に沿って出願すること。

□ 入学検定料

基本30,000円

複数受験割引有。詳細はp40の「入学検定料割引制度」を参照。

なお、入学検定料は1月20日までに納付のこと。(営業時間はコンビニエンスストアやATMなど、施設によって異なる)

□ 出願書類 p4「出願について」を確認すること

出願登録、入学検定料の支払い後にダウンロードできる書類(WEB志願票、宛名シート)を印刷し、以下の書類を宛名シートを貼付した封筒に入れ、簡易書留速達で送付(1月23日必着)のこと(試験日当日持参も可能)。

- WEB志願票 顔写真(4×3cm)を貼り付けること
- 調査書 高等学校長が作成し、厳封したもの。既卒者は成績証明書も可。
高等学校卒業程度認定試験の合格(見込)者は「合格(見込)成績証明書」を提出のこと。
*複数の種別で出願する場合でも、一度の送付につき調査書は1通で可。
- 活動報告書(任意) 本学所定の用紙一様式B
- 令和7年度大学等奨学生採用候補者決定通知【提出用】の写し(該当者のみ p39を参照)

□ 受験票・写真票

本学で出願を確認後、各入試毎に出願期間終了後から試験前日までに一斉に配信。印刷し、必ず当日持参すること。詳細はp9を参照のこと。

□ 結果通知

- 合格者には結果通知日(2月15日)当日、合格通知書(入学手続き書類含む)を日本郵便のレターパックで送付する。
なお、不合格者には通知しないので注意すること。
- 給費型奨学生に採用された場合には、その旨と採用区分が合格通知書に記載される。
- 本学構内での掲示による発表は行わない
- 合否結果を、スマートフォン、パソコンを利用した「合否案内サービス(PASS-TEL)」でも通知。利用方法についてはp37を参照すること。

募集学部・学科 *募集人数はp1参照のこと

- [理工学部] 機械工学科、電気電子工学科、物質生命工学科、建築学科、土木工学科 (学科単位の募集)
 [情報学部] コンピュータシステム学科、情報デザイン学科 (学部一括募集)

出願資格 p4に記載の出願資格を充たす者

選考日程

選考区分	WEB出願期間	出願書類提出	試験日	試験会場	結果通知日	入学金納付期間	授業料納付期間
一般前期 (B)	2025年1月6日(月) 10時から -1月20日(月)正午まで	1月23日(木)必着 (試験日当日持参 も可能)	2月1日(土) 2月2日(日) 2月3日(月)	本学(2/1,2,3) 静岡(2/1,2) 沼津(2/1,2) 名古屋(2/1,2)	2月15日(土)	2月17日(月) -2月25日(火)	2月17日(月) -3月3日(月)

*受験者は試験日と試験会場、選考方法を組み合わせ可能な範囲で選択することができる。

選考会場 *会場の詳細はp2参照のこと

- 本学会場 (静岡理科大学：袋井市豊沢 2200-2) 2月1日(土)・2日(日)・3日(月)
 沼津会場 (沼津情報・ビジネス専門学校：沼津市西条町 17-1) 2月1日(土)・2日(日)
 静岡会場 (静岡産業技術専門学校：静岡市葵区宮前町 110-11) 2月1日(土)・2日(日)
 名古屋会場 (TKP 名鉄名古屋駅カンファレンスセンター：名古屋市中村区名駅 1-2-4 名鉄バスターミナルビル 9階)
 2月1日(土)・2日(日)

選考基準と選考方法

大学入学後の学習に支障のない学力を有するかを学力試験により、評価・判定する。
 また、判定は試験日別に行うのではなく、出願学科(情報は学部)毎に3日間の総受験者の成績で判定する。
 同一学科を複数回受験した場合には、指定教科数(2教科)の合計得点が高得点の試験日のものを判定の対象とする。
 なお、試験日によって平均点に極端な差異がある場合には、得点調整を行う場合がある。
 p14-15の学力試験教科・科目にて指定した科目から、指定教科数を受験した者を判定する。
 合否ボーダーライン付近の受験者については、調査書の学習成績概評(配点5点満点)と活動報告書(提出任意、配点5点満点)を加点しての判定を行う。詳細はp5参照。

学力試験教科・科目と試験時間(いずれの科目も記述式問題を含めて出題し、旧教育課程履修者にも不利の無い出題とする)

● **理工学部【機械工学科、建築学科、土木工学科 数学、理科(物理)】**

教科	科目	配点	時間	
数学	数学I・数学II・数学A(場合の数と確率、図形の性質)・数学B(数列)・数学C(ベクトル)	150点	9:40-11:00	80分
理科	【物理基礎・物理】	100点	11:30-12:30	60分

● **理工学部【電気電子工学科 数学、理科(物理・化学のいずれか1つ)】**

教科	科目	配点	時間	
数学	数学I・数学II・数学A(場合の数と確率、図形の性質)・数学B(数列)・数学C(ベクトル)	150点	9:40-11:00	80分
理科 (1科目選択)	【物理基礎・物理】、【化学基礎・化学】の組み合わせから出願時に1つ選択	100点	11:30-12:30	60分

● **理工学部【物質生命工学科 数学、理科(物理・化学・生物のいずれか1つ)】**

教科	科目	配点	時間	
数学	数学I・数学II・数学A(場合の数と確率、図形の性質)・数学B(数列)・数学C(ベクトル)	150点	9:40-11:00	80分
理科 (1科目選択)	【物理基礎・物理】、【化学基礎・化学】、【生物基礎・生物】の組み合わせから出願時に1つ選択	100点	11:30-12:30	60分

● 情報学部 次の4教科から出願時に2教科を選択

教科	科目	配点	時間	
数学	数学I・数学II・数学A(場合の数と確率、図形の性質)・数学B(数列)・数学C(ベクトル)	100点	9:40-11:00	80分
理科 (1科目選択)	【物理基礎・物理】、【化学基礎・化学】、【生物基礎・生物】の組み合わせから出願時に1つ選択	100点	11:30-12:30	60分
外国語	英語(英語コミュニケーションI・英語コミュニケーションII)	100点	13:30-14:30	60分
国語	現代の国語・論理国語・文学国語	100点	15:00-16:00	60分

□ その他

- 一般前期(B)では、一日の受験で出願できる学科(情報は学部)は1つのみ。
一般前期(B)共通テストプラスへの出願と試験日が異なる一般前期(A)【3教科受験型】や一般前期(B)での複数学科(情報は学部)への出願が可能。
- 追加合格について
合格者の入学手続き状況によって追加合格を実施する場合がある。詳細はp36を参照すること。

□ 出願方法

WEB出願でのみ受付。本誌p6-9に記載の要領に沿って出願すること。

□ 入学検定料

基本30,000円

複数受験割引有。*詳細はp40の「入学検定料割引制度」を参照。

なお、入学検定料は1月20日までに納付のこと。(営業時間はコンビニエンスストアやATMなど、施設によって異なる)

□ 出願書類 p4「出願について」を確認すること

出願登録、入学検定料の支払い後にダウンロードできる書類(WEB志願票、宛名シート)を印刷し、以下の書類を宛名シートを貼付した封筒に入れ、簡易書留速達で送付(1月23日必着)のこと(試験日当日持参も可能)。

- WEB志願票 顔写真(4×3cm)を貼り付けること
- 調査書 高等学校長が作成し、厳封したもの。既卒者は成績証明書も可。
高等学校卒業程度認定試験の合格(見込)者は「合格(見込)成績証明書」を提出のこと。
*複数の種別で出願する場合でも、一度の送付につき調査書は1通で可。
- 活動報告書(任意) 本学所定の用紙一様式B
- 令和7年度大学等奨学生採用候補者決定通知【提出用】の写し(該当者のみ p39を参照)

□ 受験票・写真票

本学で出願を確認後、各入試毎に出願期間終了後から試験前日までに一斉に配信。印刷し、必ず当日持参すること。詳細はp9を参照のこと。

□ 結果通知

- 合格者には結果通知日(2月15日)当日、合格通知書(入学手続き関係書類含む)を日本郵便のレターパックで送付する。
なお、不合格者には通知しないので注意すること。
- 本学構内での掲示による発表は行わない
- 合否結果を、スマートフォン、パソコンを利用した「合否案内サービス(PASS-TEL)」でも通知。利用方法についてはp37を参照すること。

一般前期(A) 共通テストプラス ☆給費型奨学生制度対象入学者選抜(p3参照)

一般前期(B) 共通テストプラス

本学一般＋
共通テスト
1教科利用型

□ 給費型奨学生採用区分と枠 【対象：一般前期(A) 共通テストプラス】

- 授業料100万円給費奨学生
一般前期(A) 共通テストプラスの成績優秀者として成績上位の者
(最大4年間400万円給費*更新条件有)
採用枠：一般前期(A)、一般前期(A) 共通テストプラス、前期共通テスト利用(S)、前期共通テスト利用(A)の各選考合わせて最大30名を目標
- 奨学生採用枠から漏れた場合は、一般前期共通テストプラス枠での判定となる。

□ 募集学部・学科 *募集人数はp1参照のこと

- 【理工学部】 機械工学科、電気電子工学科、物質生命科学科、建築学科、土木工学科 (学科単位の募集)
【情報学部】 コンピュータシステム学科、情報デザイン学科 (学部一括募集)

□ 出願資格

p4に記載の出願資格を充たし、本学の一般前期の受験者であり、かつ2025年(令和7年度)の「大学入学共通テスト」において、志願する学部学科の指定する教科・科目を受験していること。

□ 選考日程 □ 選考会場 一般前期(A)、一般前期(B)を受験すること p12、p14参照のこと

□ 選考基準と選考方法

大学入学後の学習に支障のない学力を有するかを学力試験により、評価・判定する。
同一学科を複数回受験した場合には、指定教科数の合計得点が高得点の試験日のものを判定の対象とし、判定はp16-17に示す「一般前期」の出願時に選択した志望学部・学科の対象となる「大学入学共通テスト」1教科の得点(100点満点換算)を「一般前期」の結果にプラスして行うが、試験日別ではなく、出願学科(情報は学部)毎に3日間の総受験者の成績で判定する。
また、「大学入学共通テスト」において、【「数学」、「理科」、「地理歴史、公民」】を2科目以上受験した場合は、それぞれ高得点の科目を採用する。
なお、試験日によって平均点に極端な差異がある場合には、得点調整を行う場合がある。
合否ボーダーライン付近の受験者については、調査書の学習成績概評(配点5点満点)と活動報告書(提出任意、配点5点満点)を加算しての判定を行う。詳細はp5参照。

□ 大学入学共通テスト対象教科・科目

- 理工学部(機械工学科、電気電子工学科、物質生命科学科、建築学科、土木工学科)
以下に示す「大学入学共通テスト」対象2教科から出願時に1教科を選択
 - 一般前期(A)共通テストプラス(一般前期(A)の出願学科と同じ学科を志願できる)
一般前期(A)(p12-13)の3教科(350点満点)の結果に、以下の「大学入学共通テスト」対象教科から選択した1教科(100点換算)をプラスして判定する。
 - 一般前期(B)共通テストプラス(一般前期(B)の出願学科と同じ学科を志願できる)
一般前期(B)(p14-15)の2教科(250点満点)の結果に、以下の「大学入学共通テスト」対象教科から選択した1教科(100点換算)をプラスして判定する。

○プラスできる「大学入学共通テスト」対象教科と科目

共通テスト対象教科	科目	配点
数学	【数学I】、【数学I,数学A】、【数学II,数学B,数学C】から1出題科目	100点
理科	【物理】、【化学】、【生物】から1出題科目	

● 情報学部

以下に示す「大学入学共通テスト」対象6教科から出願時に1教科を選択

■ 一般前期(A) 共通テストプラス (一般前期 (A) の出願学部と同じ学部を志願できる)

一般前期(A) (p12-13) の3教科(300点満点)の結果に、以下の「大学入学共通テスト」対象教科から選択した1教科(100点換算)をプラスして判定する。

■ 一般前期(B) 共通テストプラス (一般前期 (B) の出願学部と同じ学部を志願できる)

一般前期(B) (p14-15) の2教科(200点満点)の結果に、以下の「大学入学共通テスト」対象教科から選択した1教科(100点換算)をプラスして判定する。

○ プラスできる「大学入学共通テスト」対象教科と科目

共通テスト対象教科	科目	配点
数学	『数学I』,『数学I,数学A』,『数学II,数学B,数学C』から1出題科目	100点
理科	『物理基礎/化学基礎/生物基礎(2出題範囲を選択解答する)』,『物理』,『化学』,『生物』から1出題科目	
外国語	『英語(リーディング50点+リスニング50点)』,『ドイツ語』,『フランス語』,『中国語』,『韓国語』から1出題科目	
国語	『国語 近代以降の文章のみ(3問配点110点を100点に換算)』	
地理歴史, 公民	『地理総合,地理探究』,『歴史総合,日本史探究』,『歴史総合,世界史探究』,『公共,倫理』,『公共,政治・経済』,『地理総合/歴史総合/公共(2出題範囲を選択解答する)』から1出題科目	
情報	『情報I』	

□ その他

- 一般前期で出願した複数の学科に併願可。
- 追加合格について
合格者の入学手続き状況によって追加合格を実施する場合がある。詳細はp36を参照すること。
- 旧教育課程履修者の「大学入学共通テスト」に係る選択科目についてはp36を参照すること。

□ 出願方法

WEB出願でのみ受付。本誌p6-9に記載の要領に沿って出願すること。

□ 入学検定料

基本5,000円(一般前期への出願が条件のため、併願扱いとなる)

詳細はp40の「入学検定料割引制度」を参照。

なお、入学検定料は1月20日までに納付のこと。(営業時間はコンビニエンスストアやATMなど、施設によって異なる)

□ 出願書類 p4「出願について」を確認すること

出願登録、入学検定料の支払い後にダウンロードできる書類(WEB志願票、宛名シート)を印刷し、

以下の書類を宛名シートを貼付した封筒に入れ、簡易書留速達で送付(1月23日必着)のこと(一般前期試験日当日持参も可能)。

- WEB志願票 令和7大学入学共通テスト成績請求票(私立大学用)、顔写真(4×3cm)を貼り付けること
- 調査書 高等学校長が作成し、厳封したもの。既卒者は成績証明書も可。
高等学校卒業程度認定試験の合格(見込)者は「合格(見込)成績証明書」を提出のこと。
* 複数の種別で出願する場合でも、一度の送付につき調査書は1通で可。
- 活動報告書(任意) 本学所定の用紙一様式B
- 令和7年度大学等奨学生採用候補者決定通知【提出用】の写し(該当者のみ p39を参照)

□ 受験番号確認票

本学で出願を確認後、各入試毎に出願期間終了後に配信。印刷不要。受験番号を確認すること。

□ 結果通知

- 合格者には結果通知日(2月15日)当日、合格通知書(入学手続関係書類含む)を日本郵便のレターパックで送付する。
なお、不合格者には通知しないので注意すること。
- 給費型奨学生に採用された場合には、その旨と採用区分が合格通知書に記載される。
- 本学構内での掲示による発表は行わない
- 合否結果を、スマートフォン、パソコンを利用した「合否案内サービス(PASS-TEL)」でも通知。利用方法についてはp37を参照すること。

募集学部・学科 *募集人数はp1参照のこと

- [理工学部] 機械工学科、電気電子工学科、物質生命科学科、建築学科、土木工学科 (学科単位の募集)
 [情報学部] コンピュータシステム学科、情報デザイン学科 (学部一括募集)

出願資格 p4に記載の出願資格を充たす者

選考日程

選考区分	WEB出願期間	出願書類提出	試験日	試験会場	結果通知日	入学金納付期間
一般後期 (A)	2025年2月3日(月)10時から -2月25(火)正午まで	2月27日(木)必着 (試験日当日持参も可能)	3月5日(水)	本学	3月15日(土)	3月17日(月) -3月24日(月)

選考会場 *会場の詳細はp2参照のこと

本学会場 (静岡理工科大学：袋井市豊沢 2200-2)

選考基準と選考方法

大学入学後の学習に支障のない学力を有するかを学力試験により、評価・判定する。

p18の学力試験教科・科目にて指定した科目から、指定教科数を受験した者を判定する。

合否ボーダーライン付近の受験者については、調査書の学習成績概評(配点5点満点)と活動報告書(提出任意、配点5点満点)を加点しての判定を行う。詳細はp5参照。

学力試験教科・科目と試験時間(いずれの科目も記述式問題を含めて出題し、旧教育課程履修者にも不利の無い出題とする)

● 理工学部(機械工学科、電気電子工学科、物質生命科学科、建築学科、土木工学科) 次の3教科で選考

教科	科目	配点	時間	
数学	数学I・数学II・数学A(場合の数と確率、図形の性質)・数学B(数列)・数学C(ベクトル)	150点	9:40-11:00	80分
理科 (1科目選択)	【物理基礎・物理】、【化学基礎・化学】、【生物基礎・生物】 の組み合わせから出願時に1つ選択	100点	11:30-12:30	60分
外国語	英語(英語コミュニケーションI・英語コミュニケーションII)	100点	13:30-14:30	60分

● 情報学部 次の3教科で選考

教科	科目	配点	時間	
数学	数学I・数学II・数学A(場合の数と確率、図形の性質)・数学B(数列)・数学C(ベクトル)	100点	9:40-11:00	80分
理科 (1科目選択)	【物理基礎・物理】、【化学基礎・化学】、【生物基礎・生物】 の組み合わせから出願時に1つ選択	100点	11:30-12:30	60分
外国語	英語(英語コミュニケーションI・英語コミュニケーションII)	100点	13:30-14:30	60分

□ その他

- 全学部学科に併願可。また、同学科の一般後期 (A) 共通テストプラスも併願できる。ただし、一般後期 (B) や一般後期 (B) 共通テストプラスとの併願はできない。
- 一般後期 (A) における併願可否について

志望順位	第2志望以降		
	志望学部・学科	理工学部各学科	情報学部
第1志望	理工学部各学科	○	○
	情報学部	○	—

○：併願可

□ 出願方法

WEB出願でのみ受付。本誌 p6-9 に記載の要領に沿って出願すること。

□ 入学検定料

基本 30,000 円

複数受験割引有。詳細は p40 の「入学検定料割引制度」を参照。

なお、入学検定料は 2 月 25 日までに納付のこと。(営業時間はコンビニエンスストアや ATM など、施設によって異なる)

□ 出願書類 p4「出願について」を確認すること

出願登録、入学検定料の支払い後にダウンロードできる書類 (WEB 志願票、宛名シート) を印刷し、

以下の書類を宛名シートを貼付した封筒に入れ、簡易書留速達で送付 (2 月 27 日必着) のこと (試験日当日持参も可能)。

- WEB 志願票 顔写真 (4 × 3cm) を貼り付けること
- 調査書 高等学校長が作成し、厳封したもの。既卒者は成績証明書も可。
高等学校卒業程度認定試験の合格 (見込) 者は「合格 (見込) 成績証明書」を提出のこと。
* 複数の種別で出願する場合でも、一度の送付につき調査書は 1 通で可。
- 活動報告書 (任意) 本学所定の用紙一様式 B
- 令和 7 年度大学等奨学生採用候補者決定通知【提出用】の写し (該当者のみ p39 を参照)

□ 受験票・写真票

本学で出願を確認後、各入試毎に出願期間終了後から試験前日までに一斉に配信。印刷し、必ず当日持参すること。詳細は p9 を参照のこと。

□ 結果通知

- 合格者には結果通知日 (3 月 15 日) 当日、合格通知書 (入学手続関係書類含む) を日本郵便のレターパックで送付する。なお、不合格者には通知しないので注意すること。
- 本学構内での掲示による発表は行わない
- 合否結果を、スマートフォン、パソコンを利用した「合否案内サービス (PASS-TEL)」でも通知。利用方法については p37 を参照すること。

募集学部・学科 *募集人数はp1参照のこと

[理工学部] 機械工学科、電気電子工学科、物質生命科学科、建築学科、土木工学科 (学科単位の募集)
 [情報学部] コンピュータシステム学科、情報デザイン学科 (学部一括募集)

出願資格 p4に記載の出願資格を充たす者

選考日程

選考区分	WEB出願期間	出願書類提出	試験日	試験会場	結果通知日	入学金納付期間
一般後期 (B)	2025年2月3日(月)10時から -2月25(火)正午まで	2月27日(木)必着 (試験日当日持参も可能)	3月5日(水)	本学	3月15日(土)	3月17日(月) -3月24日(月)

選考会場 *会場の詳細はp2参照のこと

本学会場 (静岡理工科大学：袋井市豊沢2200-2)

選考基準と選考方法

大学入学後の学習に支障のない学力を有するかを学力試験により、評価・判定する。
 p20の学力試験教科・科目にて指定した科目から、指定教科数を受験した者を判定する。
 合否ボーダーライン付近の受験者については、調査書の学習成績概評(配点5点満点)と活動報告書(提出任意、配点5点満点)を加点しての判定を行う。詳細はp5参照。

学力試験教科・科目と試験時間(いずれの科目も記述式問題を含めて出題し、旧教育課程履修者にも不利の無い出題とする)

● 理工学部【機械工学科、建築学科、土木工学科 数学、理科(物理)】

教科	科目	配点	時間	
数学	数学I・数学II・数学A(場合の数と確率、図形の性質)・数学B(数列)・数学C(ベクトル)	150点	9:40-11:00	80分
理科	【物理基礎・物理】	100点	11:30-12:30	60分

● 理工学部【電気電子工学科 数学、理科(物理・化学のいずれか1つ)】

教科	科目	配点	時間	
数学	数学I・数学II・数学A(場合の数と確率、図形の性質)・数学B(数列)・数学C(ベクトル)	150点	9:40-11:00	80分
理科 (1科目選択)	【物理基礎・物理】、【化学基礎・化学】 の組み合わせから出願時に1つ選択	100点	11:30-12:30	60分

● 理工学部【物質生命科学科 数学、理科(物理・化学・生物のいずれか1つ)】

教科	科目	配点	時間	
数学	数学I・数学II・数学A(場合の数と確率、図形の性質)・数学B(数列)・数学C(ベクトル)	150点	9:40-11:00	80分
理科 (1科目選択)	【物理基礎・物理】、【化学基礎・化学】、【生物基礎・生物】 の組み合わせから出願時に1つ選択	100点	11:30-12:30	60分

● 情報学部 次の3教科から出願時に2教科を選択

教科	科目	配点	時間	
数学	数学I・数学II・数学A(場合の数と確率、図形の性質)・数学B(数列)・数学C(ベクトル)	100点	9:40-11:00	80分
理科 (1科目選択)	【物理基礎・物理】、【化学基礎・化学】、【生物基礎・生物】 の組み合わせから出願時に1つ選択	100点	11:30-12:30	60分
外国語	英語(英語コミュニケーションI・英語コミュニケーションII)	100点	13:30-14:30	60分

□ その他

- 一般後期 (B) では、出願できる学科 (情報は学部) は1つのみ。
また、一般後期 (B) 共通テストプラスとの併願はできるが、一般後期 (A) や一般後期 (A) 共通テストプラスとの併願はできない。

□ 出願方法

WEB出願でのみ受付。本誌p6-9に記載の要領に沿って出願すること。

□ 入学検定料

基本 30,000 円

複数受験割引有。*詳細はp40の「入学検定料割引制度」を参照。

なお、入学検定料は2月25日までに納付のこと。(営業時間はコンビニエンスストアやATMなど、施設によって異なる)

□ 出願書類 p4「出願について」を確認すること

出願登録、入学検定料の支払い後にダウンロードできる書類 (WEB志願票、宛名シート) を印刷し、以下の書類を宛名シートを貼付した封筒に入れ、簡易書留速達で送付 (2月27日必着) のこと (試験日当日持参も可能)。

- WEB志願票 顔写真 (4×3cm) を貼り付けること
- 調査書 高等学校長が作成し、厳封したもの。既卒者は成績証明書も可。
高等学校卒業程度認定試験の合格 (見込) 者は「合格 (見込) 成績証明書」を提出のこと。
*複数の種別で出願する場合でも、一度の送付につき調査書は1通で可。
- 活動報告書 (任意) 本学所定の用紙一様式B
- 令和7年度大学等奨学生採用候補者決定通知【提出用】の写し (該当者のみ p39を参照)

□ 受験票・写真票

本学で出願を確認後、各入試毎に出願期間終了後から試験前日までに一斉に配信。印刷し、必ず当日持参すること。詳細はp9を参照のこと。

□ 結果通知

- 合格者には結果通知日 (3月15日) 当日、合格通知書 (入学手続関係書類含む) を日本郵便のレターパックで送付する。
なお、不合格者には通知しないので注意すること。
- 本学構内での掲示による発表は行わない
- 合否結果を、スマートフォン、パソコンを利用した「合否案内サービス (PASS-TEL)」でも通知。利用方法についてはp37を参照すること。

一般後期 (A) 共通テストプラス 一般後期 (B) 共通テストプラス

本学一般＋
共通テスト
1教科利用型

□ 募集学部・学科 *募集人数はp1参照のこと

- [理工学部] 機械工学科、電気電子工学科、物質生命科学科、建築学科、土木工学科 (学科単位の募集)
[情報学部] コンピュータシステム学科、情報デザイン学科 (学部一括募集)

□ 出願資格

p4に記載の出願資格を充たし、本学の一般後期の受験者であり、かつ2025年(令和7年度)の「大学入学共通テスト」において、志願する学部学科の指定する教科・科目を受験していること。

□ 選考日程 □ 選考会場 一般後期 (A)、一般後期 (B) を受験すること p18、p20参照のこと

□ 選考基準と選考方法

大学入学後の学習に支障のない学力を有するかを学力試験により、評価・判定する。

判定はp22-23に示す「一般後期」の出願時に選択した志望学部・学科の対象となる「大学入学共通テスト」1教科の得点(100点満点換算)を「一般後期」の結果にプラスして行う。

なお、「大学入学共通テスト」において、【「数学」、「理科」、「地理歴史、公民」】を2科目以上受験した場合は、それぞれ高得点の科目を採用する。

合否ボーダーライン付近の受験者については、調査書の学習成績概評(配点5点満点)と活動報告書(提出任意、配点5点満点)を加算しての判定を行う。詳細はp5参照。

□ 大学入学共通テスト対象教科・科目

● 理工学部(機械工学科、電気電子工学科、物質生命科学科、建築学科、土木工学科)

以下に示す「大学入学共通テスト」対象2教科から出願時に1教科を選択

■ 一般後期(A)共通テストプラス(一般後期(A)の出願学科と同じ学科を志願できる)

一般後期(A)(p18)の3教科(350点満点)の結果に、以下の「大学入学共通テスト」対象教科から選択した1教科(100点換算)をプラスして判定する。

■ 一般後期(B)共通テストプラス(一般後期(B)の出願学科と同じ学科を志願できる)

一般後期(B)(p20)の2教科(250点満点)の結果に、以下の「大学入学共通テスト」対象教科から選択した1教科(100点換算)をプラスして判定する。

○ プラスできる「大学入学共通テスト」対象教科と科目

共通テスト対象教科	科目	配点
数学	【数学I】、【数学I、数学A】、【数学II、数学B、数学C】から1出題科目	100点
理科	【物理】、【化学】、【生物】から1出題科目	

● 情報学部

以下に示す「大学入学共通テスト」対象6教科から出願時に1教科を選択

■ 一般後期(A) 共通テストプラス (一般後期 (A) の出願学部と同じ学部を志願できる)

一般後期(A) (p18) の3教科(300点満点)の結果に、以下の「大学入学共通テスト」対象教科から選択した1教科(100点換算)をプラスして判定する。

■ 一般後期(B) 共通テストプラス (一般後期 (B) の出願学部と同じ学部を志願できる)

一般後期(B) 試験 (p20) の2教科(200点満点)の結果に、以下の「大学入学共通テスト」対象教科から選択した1教科(100点換算)をプラスして判定する。

○ プラスできる「大学入学共通テスト」対象教科と科目

共通テスト対象教科	科目	配点
数学	『数学I』, 『数学I, 数学A』, 『数学II, 数学B, 数学C』から1出題科目	100点
理科	『物理基礎/化学基礎/生物基礎(2出題範囲を選択解答する)』, 『物理』, 『化学』, 『生物』から1出題科目	
外国語	『英語(リーディング50点+リスニング50点)』, 『ドイツ語』, 『フランス語』, 『中国語』, 『韓国語』から1出題科目	
国語	『国語 近代以降の文章のみ(3問配点110点を100点に換算)』	
地理歴史, 公民	『地理総合, 地理探究』, 『歴史総合, 日本史探究』, 『歴史総合, 世界史探究』, 『公共, 倫理』, 『公共, 政治・経済』, 『地理総合/歴史総合/公共(2出題範囲を選択解答する)』から1出題科目	
情報	『情報I』	

□ その他

- 一般後期(A) 共通テストプラスのみ一般後期(A)で出願した複数の学部・学科に併願可。
- 旧教育課程履修者の「大学入学共通テスト」に係る選択科目についてはp36を参照すること。

□ 出願方法

WEB出願でのみ受付。本誌p6-9に記載の要領に沿って出願すること。

□ 入学検定料

基本5,000円(一般後期への出願が条件のため、併願扱いとなる)

詳細はp40の「入学検定料割引制度」を参照。

なお、入学検定料は2月25日までに納付のこと。(営業時間はコンビニエンスストアやATMなど、施設によって異なる)

□ 出願書類 p4「出願について」を確認すること

出願登録、入学検定料の支払い後にダウンロードできる書類(WEB志願票、宛名シート)を印刷し、

以下の書類を宛名シートを貼付した封筒に入れ、簡易書留速達で送付(2月27日必着)のこと(一般後期試験日当日持参も可能)。

- WEB志願票 令和7共通テスト成績請求票(私立大学用)、顔写真(4×3cm)を貼り付けること
- 調査書 高等学校長が作成し、厳封したもの。既卒者は成績証明書も可。
高等学校卒業程度認定試験の合格(見込)者は「合格(見込)成績証明書」を提出のこと。
*複数の種別で出願する場合でも、一度の送付につき調査書は1通で可。
- 活動報告書(任意) 本学所定の用紙一様式B
- 令和7年度大学等奨学生採用候補者決定通知【提出用】の写し(該当者のみ p39を参照)

□ 受験番号確認票

本学で出願を確認後、各入試毎に出願期間終了後に配信。印刷不要。受験番号を確認すること。

□ 結果通知

- 合格者には結果通知日(3月15日)当日、合格通知書(入学手続関係書類含む)を日本郵便のレターパックで送付する。
なお、不合格者には通知しないので注意すること。
- 本学構内での掲示による発表は行わない
- 合否結果を、スマートフォン、パソコンを利用した「合否案内サービス(PASS-TEL)」でも通知。利用方法についてはp37を参照すること。

大学入学共通テスト利用 前期共通テスト利用 (S)

☆給費型奨学生制度対象入学者選抜 (p3参照)

3教科受験型

□ 給費型奨学生採用区分と枠

- 授業料100万円給費奨学生
前期共通テスト利用 (S) の成績優秀者として成績上位の者
(最大4年間400万円給費 *更新条件有)
採用枠：一般前期 (A)、一般前期 (A) 共通テストプラス、前期共通テスト利用 (S)、前期共通テスト利用 (A) の各選考合わせて最大30名を目処
- 授業料50万円給費奨学生
前期共通テスト利用 (S) の合格者の内、該当科目の合計得点率60%以上の者
採用枠：人数制限なし (最大4年間200万円給費 *更新条件有)
- 奨学生採用枠から漏れた場合は、前期共通テスト利用枠での判定となる。

□ 募集学部・学科 *募集人数はp1参照のこと

- [理工学部] 機械工学科、電気電子工学科、物質生命科学科、建築学科、土木工学科 (学科単位の募集)
[情報学部] コンピュータシステム学科、情報デザイン学科 (学部一括募集)
コンピュータシステム学科 データサイエンス専攻 (専攻単位の募集)

□ 出願資格

p4に記載の出願資格を充たし、2025年(令和7年度)の「大学入学共通テスト」受験者で、志願する学部学科の指定する教科を3教科受験している者。

□ 選考日程 *出願期間が短いので注意すること

選考区分	WEB出願期間	出願書類提出	試験日	結果通知日	入学金納付期間	授業料納付期間
前期共通 テスト利用 (S)	2025年1月6日(月)10時から -1月17日(金)正午まで	1月30日(木)必着	本学独自の 試験は行わない	2月15日(土)	2月17日(月) -2月25日(火)	2月17日(月) -3月3日(月)

□ 選考基準

大学入学後の学習に支障のない学力を有するかを大学入学共通テストの結果に基づき、評価・判定する。
合否ボーダーライン付近の受験者については、調査書の学習成績概評(配点5点満点)と活動報告書(提出任意、配点5点満点)を加算しての判定を行う。詳細はp5参照。

□ 選考方法

以下項目にて、指定した教科数を受験した者を判定する。

利用教科と科目

- 理工学部(機械工学科、電気電子工学科、物質生命科学科、建築学科、土木工学科)
必須2教科【数学,理科】と選択教科【外国語,国語,情報】から1教科の計3教科で出願すること

共通テスト教科	科目	配点
必須教科	数 学	各100点
	理 科	
選択教科	外国語	各100点
	国 語	
	情 報	

大学入学共通テストにおいて、【「数学」,「理科」】を2科目以上受験した場合は、それぞれ高得点の科目を合否判定の対象とする。

● 情報学部 次の6教科から3教科を選択し出願すること

共通テスト教科		科目	配点
選択教科	数 学	『数学I』,『数学I,数学A』,『数学II,数学B,数学C』から1出題科目	各100点
	理 科	『物理基礎/化学基礎/生物基礎(2出題範囲を選択解答する)』,『物理』,『化学』,『生物』から1出題科目	
	外国語	『英語(リーディング50点+リスニング50点)』,『ドイツ語』,『フランス語』,『中国語』,『韓国語』から1出題科目	
	国 語	『国語 近代以降の文章のみ(3問配点110点を100点に換算)』	
	地理歴史, 公民	『地理総合,地理探究』,『歴史総合,日本史探究』,『歴史総合,世界史探究』,『公共,倫理』,『公共,政治・経済』,『地理総合/歴史総合/公共(2出題範囲を選択解答する)』から1出題科目	
	情 報	『情報I』	

大学入学共通テストにおいて、【「数学」,「理科」,「地理歴史, 公民」】を2科目以上受験した場合は、それぞれ高得点の科目を合否判定の対象とする。

コンピュータシステム学科 データサイエンス専攻の選考方法についてはp34-35を参照

その他

- 追加合格について

合格者の入学手続き状況によって追加合格を実施する場合がある。詳細はp36を参照すること。

- 旧教育課程履修者の「大学入学共通テスト」に係る選択科目についてはp36を参照すること。

出願方法

WEB出願でのみ受付。本誌p6-9に記載の要領に沿って出願すること。

入学検定料

20,000円

前期共通テスト利用における複数学科の志願や前期共通テスト利用(A)・(B)受験でも追加検定料必要無し。

詳細はp40の「入学検定料割引制度」を参照。

なお、入学検定料は1月17日までに納付のこと。(営業時間はコンビニエンスストアやATMなど、施設によって異なる)

出願書類 p4「出願について」を確認すること

出願登録、入学検定料の支払い後にダウンロードできる書類(WEB志願票、宛名シート)を印刷し、

以下の書類を宛名シートを貼付した封筒に入れ、簡易書留速達で送付(1月30日必着)のこと。

- WEB志願票 令和7共通テスト成績請求票(私立大学用)、顔写真(4×3cm)を貼り付けること。
- 調査書 高等学校長が作成し、厳封したもの。既卒者は成績証明書も可。
高等学校卒業程度認定試験の合格(見込)者は「合格(見込)成績証明書」を提出のこと。
*複数の種別で出願する場合でも、一度の送付につき調査書は1通で可。
- 活動報告書(任意) 本学所定の用紙一様式B
- 令和7年度大学等奨学生採用候補者決定通知【提出用】の写し(該当者のみ p39を参照)

受験番号確認票

本学で出願を確認後、各入試毎に出願期間終了後に配信。印刷不要。受験番号を確認すること。

結果通知

- 合格者には結果通知日(2月15日)当日、合格通知書(入学手続き書類含む)を日本郵便のレターパックで送付する。
なお、不合格者には通知しないので注意すること。
- 給費型奨学生に採用された場合には、その旨が合格通知書に記載される。
- 本学構内での掲示による発表は行わない
- 合否結果を、スマートフォン、パソコンを利用した「合否案内サービス(PASS-TEL)」でも通知。利用方法についてはp37を参照すること。

大学入学共通テスト利用 前期共通テスト利用 (A)

☆給費型奨学生制度対象入学者選抜 (p3 参照)

3 教科受験型

□ 給費型奨学生採用区分と枠

- 授業料100万円給費奨学生
前期共通テスト利用 (A) の成績優秀者として成績上位の者
(最大4年間400万円給費 *更新条件有)
採用枠: 一般前期 (A)、一般前期 (A) 共通テストプラス、前期共通テスト利用 (S)、前期共通テスト利用 (A) の各選考合わせて最大30名を目標
- 授業料50万円給費奨学生
前期共通テスト利用 (A) の合格者の内、該当科目の合計得点率65%以上の者
採用枠: 人数制限なし (最大4年間200万円給費 *更新条件有)
- 奨学生採用枠から漏れた場合は、前期共通テスト利用枠での判定となる。

□ 募集学部・学科 *募集人数はp1参照のこと

- [理工学部] 機械工学科、電気電子工学科、物質生命工学科、建築学科、土木工学科 (学科単位の募集)
[情報学部] コンピュータシステム学科、情報デザイン学科 (学部一括募集)
コンピュータシステム学科 データサイエンス専攻 (専攻単位の募集)

□ 出願資格

p4に記載の出願資格を充たし、2025年(令和7年度)の「大学入学共通テスト」受験者で、志願する学部学科の指定する教科を3教科受験している者。

□ 選考日程

選考区分	WEB出願期間	出願書類提出	試験日	結果通知日	入学金納付期間	授業料納付期間
前期共通 テスト利用 (A)	2025年1月6日(月)10時から -1月26日(日)正午まで	1月30日(木)必着	本学独自の 試験は行わない	2月15日(土)	2月17日(月) -2月25日(火)	2月17日(月) -3月3日(月)

□ 選考基準

大学入学後の学習に支障のない学力を有するかを大学入学共通テストの結果に基づき、評価・判定する。
合否ボーダーライン付近の受験者については、調査書の学習成績概評(配点5点満点)と活動報告書(提出任意、配点5点満点)を加算しての判定を行う。詳細はp5参照。

□ 選考方法

以下項目にて、指定した教科数を受験した者を判定する。

利用教科と科目

- 理工学部(機械工学科、電気電子工学科、物質生命工学科、建築学科、土木工学科)
必須2教科【数学,理科】と選択教科【外国語,国語,情報】から1教科の計3教科で出願すること

共通テスト教科	科目	配点
必須教科	数 学 『数学I』,『数学II,数学A』,『数学III,数学B,数学C』から1出題科目	各100点
	理 科 『物理』,『化学』,『生物』から1出題科目	
選択教科	外国語 『英語(リーディング50点+リスニング50点)』,『ドイツ語』,『フランス語』,『中国語』,『韓国語』から1出題科目	
	国 語 『国語 近代以降の文章のみ(3問配点110点を100点に換算)』	
	情 報 『情報I』	

大学入学共通テストにおいて、【「数学」,「理科」】を2科目以上受験した場合は、それぞれ高得点の科目を合否判定の対象とする。

● 情報学部 次の6教科から3教科を選択し出願すること

共通テスト教科		科目	配点
選択教科	数 学	『数学I』,『数学I,数学A』,『数学II,数学B,数学C』から1出題科目	各100点
	理 科	『物理基礎/化学基礎/生物基礎(2出題範囲を選択解答する)』,『物理』,『化学』,『生物』から1出題科目	
	外国語	『英語(リーディング50点+リスニング50点)』,『ドイツ語』,『フランス語』,『中国語』,『韓国語』から1出題科目	
	国 語	『国語 近代以降の文章のみ(3問配点110点を100点に換算)』	
	地理歴史, 公民	『地理総合,地理探究』,『歴史総合,日本史探究』,『歴史総合,世界史探究』,『公共,倫理』,『公共,政治・経済』,『地理総合/歴史総合/公共(2出題範囲を選択解答する)』から1出題科目	
	情 報	『情報I』	

大学入学共通テストにおいて、【「数学」,「理科」,「地理歴史, 公民」】を2科目以上受験した場合は、それぞれ高得点の科目を合否判定の対象とする。

コンピュータシステム学科 データサイエンス専攻の選考方法についてはp34-35を参照

その他

- 追加合格について
合格者の入学手続き状況によって追加合格を実施する場合がある。詳細はp36を参照すること。
- 旧教育課程履修者の「大学入学共通テスト」に係る選択科目についてはp36を参照すること。

出願方法

WEB出願でのみ受付。本誌p6-9に記載の要領に沿って出願すること。

入学検定料

20,000円

前期共通テスト利用における複数学科の志願や前期共通テスト利用(S)・(B)受験でも追加検定料必要無し。

詳細はp40の「入学検定料割引制度」を参照。

なお、入学検定料は1月26日までに納付のこと。(営業時間はコンビニエンスストアやATMなど、施設によって異なる)

出願書類 p4「出願について」を確認すること

出願登録、入学検定料の支払い後にダウンロードできる書類(WEB志願票、宛名シート)を印刷し、

以下の書類を宛名シートを貼付した封筒に入れ、簡易書留速達で送付(1月30日必着)のこと。

- WEB志願票 令和7共通テスト成績請求票(私立大学用)、顔写真(4×3cm)を貼り付けること。
- 調査書 高等学校長が作成し、厳封したもの。既卒者は成績証明書も可。
高等学校卒業程度認定試験の合格(見込)者は「合格(見込)成績証明書」を提出のこと。
*複数の種別で出願する場合でも、一度の送付につき調査書は1通で可。
- 活動報告書(任意) 本学所定の用紙一様式B
- 令和7年度大学等奨学生採用候補者決定通知【提出用】の写し(該当者のみ p39を参照)

受験番号確認票

本学で出願を確認後、各入試毎に出願期間終了後に配信。印刷不要。受験番号を確認すること。

結果通知

- 合格者には結果通知日(2月15日)当日、合格通知書(入学手続関係書類含む)を日本郵便のレターパックで送付する。
- なお、不合格者には通知しないので注意すること。
- 給費型奨学生に採用された場合には、その旨と採用区分が合格通知書に記載される。
- 本学構内での掲示による発表は行わない
- 合否結果を、スマートフォン、パソコンを利用した「合否案内サービス(PASS-TEL)」でも通知。利用方法についてはp37を参照すること。

大学入学共通テスト利用 前期共通テスト利用 (B)

2教科受験型

募集学部・学科 *募集人数はp1参照のこと

- [理工学部] 機械工学科、電気電子工学科、物質生命科学科、建築学科、土木工学科 (学科単位の募集)
[情報学部] コンピュータシステム学科、情報デザイン学科 (学部一括募集)

出願資格

p4に記載の出願資格を充たし、2025年(令和7年度)の「大学入学共通テスト」受験者で、志願する学部学科の指定する教科を2教科受験している者。

選考日程

選考区分	WEB出願期間	出願書類提出	試験日	結果通知日	入学金納付期間	授業料納付期間
前期共通 テスト利用(B)	2025年1月6日(月)10時から -1月26日(日)正午まで	1月30日(木)必着	本学独自の 試験は行わない	2月15日(土)	2月17日(月) -2月25日(火)	2月17日(月) -3月3日(月)

選考基準

大学入学後の学習に支障のない学力を有するかを大学入学共通テストの結果に基づき、評価・判定する。
合否ボーダーライン付近の受験者については、調査書の学習成績概評(配点5点満点)と活動報告書(提出任意、配点5点満点)を加算しての判定を行う。詳細はp5参照。

選考方法

以下項目にて、指定した教科数を受験した者を判定する。

利用教科と科目

- 理工学部(機械工学科、電気電子工学科、物質生命科学科、建築学科、土木工学科)
必須1教科【数学】と選択教科【理科、外国語、国語、情報】から1教科の計2教科で出願すること

共通テスト教科	科目	配点
必須教科	数 学 『数学I』、『数学I,数学A』、『数学II,数学B,数学C』から1出題科目	各100点
選択教科	理 科 『物理』、『化学』、『生物』から1出題科目	
	外国語 『英語(リーディング50点+リスニング50点)』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』から1出題科目	
	国 語 『国語 近代以降の文章のみ(3問配点110点を100点に換算)』	
情 報	『情報I』	

大学入学共通テストにおいて、【「数学」,「理科」】を2科目以上受験した場合は、それぞれ高得点の科目を合否判定の対象とする。

- 情報学部 次の6教科から2教科を選択し出願すること

共通テスト教科	科目	配点
選択 教科	数 学 『数学I』、『数学I,数学A』、『数学II,数学B,数学C』から1出題科目	各100点
	理 科 『物理基礎/化学基礎/生物基礎(2出題範囲を選択解答する)』、『物理』、『化学』、『生物』から1出題科目	
	外国語 『英語(リーディング50点+リスニング50点)』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』から1出題科目	
	国 語 『国語 近代以降の文章のみ(3問配点110点を100点に換算)』	
	地理歴史, 公民 『地理総合,地理探究』、『歴史総合,日本史探究』、『歴史総合,世界史探究』、『公共,倫理』, 『公共,政治・経済』、『地理総合/歴史総合/公共(2出題範囲を選択解答する)』から1出題科目	
	情 報	

大学入学共通テストにおいて、【「数学」,「理科」,「地理歴史, 公民」】を2科目以上受験した場合は、それぞれ高得点の科目を合否判定の対象とする。

その他

- 追加合格について
合格者の入学手続き状況によって追加合格を実施する場合がある。詳細は p36 を参照すること。
- 旧教育課程履修者の「大学入学共通テスト」に係る選択科目については p36 を参照すること。

出願方法

WEB 出願でのみ受付。本誌 p6-9 に記載の要領に沿って出願すること。

入学検定料

20,000 円

前期共通テスト利用における複数学科の志願や前期共通テスト利用 (S)・(A) 受験でも追加検定料必要無し。

詳細は p40 の「入学検定料割引制度」を参照。

なお、入学検定料は 1 月 26 日までに納付のこと。(営業時間はコンビニエンスストアや ATM など、施設によって異なる)

出願書類 p4「出願について」を確認すること

出願登録、入学検定料の支払い後にダウンロードできる書類 (WEB 志願票、宛名シート) を印刷し、

以下の書類を宛名シートを貼付した封筒に入れ、簡易書留速達で送付 (1 月 30 日必着) のこと。

- WEB 志願票 令和 7 共通テスト成績請求票 (私立大学用)、顔写真 (4 × 3cm) を貼り付けること。
- 調査書 高等学校長が作成し、厳封したもの。既卒者は成績証明書も可。
高等学校卒業程度認定試験の合格 (見込) 者は「合格 (見込) 成績証明書」を提出のこと。
* 複数の種別で出願する場合でも、一度の送付につき調査書は 1 通で可。
- 活動報告書 (任意) 本学所定の用紙一様式 B
- 令和 7 年度大学等奨学生採用候補者決定通知【提出用】の写し (該当者のみ p39 を参照)

受験番号確認票

本学で出願を確認後、各入試毎に出願期間終了後に配信。印刷不要。受験番号を確認すること。

結果通知

- 合格者には結果通知日 (2 月 15 日) 当日、合格通知書 (入学手続関係書類含む) を日本郵便のレターパックで送付する。
なお、不合格者には通知しないので注意すること。
- 本学構内での掲示による発表は行わない
- 合否結果を、スマートフォン、パソコンを利用した「合否案内サービス (PASS-TEL)」でも通知。利用方法については p37 を参照すること。

大学入学共通テスト利用 後期共通テスト利用 (A)

3教科受験型

☆給費型奨学生制度対象入学者選抜(データサイエンス専攻限定)(p3参照)

□ 給費型奨学生採用区分と枠

- 授業料50万円給費奨学生
後期共通テスト利用(A)で情報学部 コンピュータシステム学科 データサイエンス専攻に合格した者

□ 募集学部・学科 *募集人数はp1参照のこと

- [理工学部] 機械工学科、電気電子工学科、物質生命科学科、建築学科、土木工学科 (学科単位の募集)
[情報学部] コンピュータシステム学科、情報デザイン学科 (学部一括募集)
コンピューターシステム学科 データサイエンス専攻 (専攻単位の募集)

□ 出願資格

p4に記載の出願資格を充たし、2025年(令和7年度)の「大学入学共通テスト」受験者で、志願する学部学科の指定する教科を3教科受験している者。

□ 選考日程

選考区分	WEB出願期間	出願書類提出	試験日	結果通知日	入学金納付期間
後期共通 テスト利用(A)	2025年2月17日(月)10時から -3月9日(日)正午まで	3月11日(火)必着	本学独自の 試験は行わない	3月15日(土)	3月17日(月) -3月24日(月)

□ 選考基準

大学入学後の学習に支障のない学力を有するかを大学入学共通テストの結果に基づき、評価・判定する。
合否ボーダーライン付近の受験者については、調査書の学習成績概評(配点5点満点)と活動報告書(提出任意、配点5点満点)を加算しての判定を行う。詳細はp5参照。

□ 選考方法

以下項目にて、指定した教科数を受験した者を判定する。

利用教科と科目

- 理工学部(機械工学科、電気電子工学科、物質生命科学科、建築学科、土木工学科)
必須2教科【数学,理科】と選択教科【外国語,国語,情報】から1教科の計3教科で出願すること

共通テスト教科	科目	配点
必須教科	数 学 『数学I』,『数学I,数学A』,『数学II,数学B,数学C』から1出題科目	各100点
	理 科 『物理』,『化学』,『生物』から1出題科目	
選択教科	外国語 『英語(リーディング50点+リスニング50点)』,『ドイツ語』,『フランス語』,『中国語』,『韓国語』から1出題科目	
	国 語 『国語 近代以降の文章のみ(3問配点110点を100点に換算)』	
	情 報 『情報I』	

大学入学共通テストにおいて、【「数学」,「理科」】を2科目以上受験した場合は、それぞれ高得点の科目を合否判定の対象とする。

● 情報学部 次の6教科から3教科を選択し出願すること

共通テスト教科		科目	配点
選択教科	数 学	『数学I』,『数学I,数学A』,『数学II,数学B,数学C』から1出題科目	各100点
	理 科	『物理基礎/化学基礎/生物基礎(2出題範囲を選択解答する)』,『物理』,『化学』,『生物』から1出題科目	
	外国語	『英語(リーディング50点+リスニング50点)』,『ドイツ語』,『フランス語』,『中国語』,『韓国語』から1出題科目	
	国 語	『国語 近代以降の文章のみ(3問配点110点を100点に換算)』	
	地理歴史, 公民	『地理総合,地理探究』,『歴史総合,日本史探究』,『歴史総合,世界史探究』,『公共,倫理』,『公共,政治・経済』,『地理総合/歴史総合/公共(2出題範囲を選択解答する)』から1出題科目	
	情 報	『情報I』	

大学入学共通テストにおいて、【「数学」,「理科」,「地理歴史, 公民」】を2科目以上受験した場合は、それぞれ高得点の科目を合否判定の対象とする。

コンピュータシステム学科 データサイエンス専攻の選考方法についてはp34-35を参照

□ その他

- 旧教育課程履修者の「大学入学共通テスト」に係る選択科目についてはp36を参照すること。

□ 出願方法

WEB出願でのみ受付。本誌p6-9に記載の要領に沿って出願すること。

□ 入学検定料

20,000円

後期共通テスト利用における複数学科の志願や後期共通テスト利用(B)受験でも追加検定料必要無し。

本学、前期共通テスト利用出願者は追加検定料無しで受験可。

詳細はp40の「入学検定料割引制度」を参照。

なお、入学検定料は3月9日までに納付のこと。(営業時間はコンビニエンスストアやATMなど、施設によって異なる)

□ 出願書類 p4「出願について」を確認すること

出願登録、入学検定料の支払い後にダウンロードできる書類(WEB志願票、宛名シート)を印刷し、

以下の書類を宛名シートを貼付した封筒に入れ、簡易書留速達で送付(3月11日必着)のこと。

- WEB志願票 令和7共通テスト成績請求票(私立大学用)、顔写真(4×3cm)を貼り付けること。
- 調査書 高等学校長が作成し、厳封したもの。既卒者は成績証明書も可。
高等学校卒業程度認定試験の合格(見込)者は「合格(見込)成績証明書」を提出のこと。
*複数の種別で出願する場合でも、一度の送付につき調査書は1通で可。
- 活動報告書(任意) 本学所定の用紙一様式B
- 令和7年度大学等奨学生採用候補者決定通知【提出用】の写し(該当者のみ p39を参照)

□ 受験番号確認票

本学で出願を確認後、各入試毎に出願期間終了後に配信。印刷不要。受験番号を確認すること。

□ 結果通知

- 合格者には結果通知日(3月15日)当日、合格通知書(入学手続関係書類含む)を日本郵便のレターパックで送付する。
なお、不合格者には通知しないので注意すること。
- 給費型奨学生に採用された場合には、その旨と採用区分が合格通知書に記載される。
- 本学構内での掲示による発表は行わない
- 合否結果を、スマートフォン、パソコンを利用した「合否案内サービス(PASS-TEL)」でも通知。利用方法についてはp37を参照すること。

大学入学共通テスト利用 後期共通テスト利用 (B)

2教科受験型

□ 募集学部・学科 *募集人数はp1参照のこと

[理工学部] 機械工学科、電気電子工学科、物質生命科学科、建築学科、土木工学科 (学科単位の募集)

[情報学部] コンピュータシステム学科、情報デザイン学科 (学部一括募集)

□ 出願資格

p4に記載の出願資格を充たし、2025年(令和7年度)の「大学入学共通テスト」受験者で、志願する学部学科の指定する教科を2教科受験している者。

□ 選考日程

選考区分	WEB出願期間	出願書類提出	試験日	結果通知日	入学金納付期間
後期共通 テスト利用 (B)	2025年2月17日(月)10時から -3月9日(日)正午まで	3月11日(火)必着	本学独自の 試験は行わない	3月15日(土)	3月17日(月) -3月24日(月)

□ 選考基準

大学入学後の学習に支障のない学力を有するかを大学入学共通テストの結果に基づき、評価・判定する。

合否ボーダーライン付近の受験者については、調査書の学習成績概評(配点5点満点)と活動報告書(提出任意、配点5点満点)を加算しての判定を行う。詳細はp5参照。

□ 選考方法

以下項目にて、指定した教科数を受験した者を判定する。

利用教科と科目

● 理工学部(機械工学科、電気電子工学科、物質生命科学科、建築学科、土木工学科)

必須1教科【数学】と選択教科【理科、外国語、国語、情報】から1教科の計2教科で出願すること

共通テスト教科		科目	配点
必須教科	数 学	『数学I』、『数学I,数学A』、『数学II,数学B,数学C』から1出題科目	各100点
選択教科	理 科	『物理』、『化学』、『生物』から1出題科目	
	外国語	『英語(リーディング50点+リスニング50点)』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』から1出題科目	
	国 語	『国語 近代以降の文章のみ(3問配点110点を100点に換算)』	
	情 報	『情報I』	

大学入学共通テストにおいて、【「数学」,「理科」】を2科目以上受験した場合は、それぞれ高得点の科目を合否判定の対象とする。

● 情報学部 次の6教科から2教科を選択し出願すること

共通テスト教科		科目	配点
選択 教科	数 学	『数学I』、『数学I,数学A』、『数学II,数学B,数学C』から1出題科目	各100点
	理 科	『物理基礎/化学基礎/生物基礎(2出題範囲を選択解答する)』、『物理』、『化学』、『生物』から1出題科目	
	外国語	『英語(リーディング50点+リスニング50点)』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』から1出題科目	
	国 語	『国語 近代以降の文章のみ(3問配点110点を100点に換算)』	
	地理歴史, 公民	『地理総合,地理探究』、『歴史総合,日本史探究』、『歴史総合,世界史探究』、『公共,倫理』,『公共,政治・経済』,『地理総合/歴史総合/公共(2出題範囲を選択解答する)』から1出題科目	
	情 報	『情報I』	

大学入学共通テストにおいて、【「数学」,「理科」,「地理歴史, 公民」】を2科目以上受験した場合は、それぞれ高得点の科目を合否判定の対象とする。

その他

- 旧教育課程履修者の「大学入学共通テスト」に係る選択科目についてはp36を参照すること。

出願方法

WEB出願でのみ受付。本誌p6-9に記載の要領に沿って出願すること。

入学検定料

20,000円

後期共通テスト利用における複数学科の志願や後期共通テスト利用(A)受験でも追加検定料必要無し。

本学、前期共通テスト利用出願者は追加検定料無しで受験可。

詳細はp40の「入学検定料割引制度」を参照。

なお、入学検定料は3月9日までに納付のこと。(営業時間はコンビニエンスストアやATMなど、施設によって異なる)

出願書類 p4「出願について」を確認すること

出願登録、入学検定料の支払い後にダウンロードできる書類(WEB志願票、宛名シート)を印刷し、以下の書類を宛名シートを貼付した封筒に入れ、簡易書留速達で送付(3月11日必着)のこと。

- WEB志願票 令和7共通テスト成績請求票(私立大学用)、顔写真(4×3cm)を貼り付けること。
- 調査書 高等学校長が作成し、厳封したもの。既卒者は成績証明書も可。
高等学校卒業程度認定試験の合格(見込)者は「合格(見込)成績証明書」を提出のこと。
*複数の種別で出願する場合でも、一度の送付につき調査書は1通で可。
- 活動報告書(任意) 本学所定の用紙一様式B
- 令和7年度大学等奨学生採用候補者決定通知【提出用】の写し(該当者のみ p39を参照)

受験番号確認票

本学で出願を確認後、各入試毎に出願期間終了後に配信。印刷不要。受験番号を確認すること。

結果通知

- 合格者には結果通知日(3月15日)当日、合格通知書(入学手続関係書類含む)を日本郵便のレターパックで送付する。
なお、不合格者には通知しないので注意すること。
- 本学構内での掲示による発表は行わない
- 合否結果を、スマートフォン、パソコンを利用した「合否案内サービス(PASS-TEL)」でも通知。利用方法についてはp37を参照すること。

□ 対象選考種別 *募集人数はp1参照のこと

- ・公募制 給費奨学生
- ・前期共通テスト利用(S) ・前期共通テスト利用(A) ・後期共通テスト利用(A)
- *共通テスト利用において、データサイエンス専攻採用枠から漏れた場合は原則情報学部枠で合否判定する。

□ 出願資格

【公募制 給費奨学生】

p4に記載の出願資格を充たす者

【共通テスト利用】

p4に記載の出願資格を充たし、2025年(令和7年度)の「大学入学共通テスト」受験者で、データサイエンス専攻の指定する教科を3教科受験している者。

□ 選考日程 *出願期間をよく確認すること

選考区分	WEB出願期間	出願書類提出	試験日	結果通知日	入学金納付期間	授業料納付期間
公募制 給費奨学生	2024年11月25日(月)10時から -12月5日(木)正午まで	12月10日(火) 必着	12月14日 (土)	12月21日(土)	12月23日(月) -2025年2月25日(火)	12月23日(月) -2025年3月3日(月)
前期共通 テスト利用(S)	2025年1月6日(月)10時から -1月17日(金)正午まで	1月30日(木) 必着	本学独自の試験は 行わない	2月15日(土)	2月17日(月) -2月25日(火)	2月17日(月) -3月3日(月)
前期共通 テスト利用(A)	2025年1月6日(月)10時から -1月26日(日)正午まで	1月30日(木) 必着	本学独自の試験は 行わない	2月15日(土)	2月17日(月) -2月25日(火)	2月17日(月) -3月3日(月)
後期共通 テスト利用(A)	2025年2月17日(月)10時から -3月9日(日)正午まで	3月11日(火) 必着	本学独自の試験は 行わない	3月15日(土)	3月17日(月) -3月24日(月)	3月17日(月) -3月24日(月)

※以下より「共通テスト利用」について記載する。「公募制 給費奨学生」についてはp10-11を参照のこと。

□ 採用条件

以下の条件(1)で出願し、①または②を充たした志願者の内、成績上位の者(合計得点による順位)から合格者として採用する。

採用された場合は授業料50万円給費奨学生となる。

採用から漏れた場合は、「情報学部」の基準で合否判定を行うが、この場合は3教科の合計得点が判定の対象となる。

(1)前期共通テスト利用(S)若しくは(A)、または後期共通テスト利用(A)で、必須2教科【「数学」,「英語」】と選択1教科【「理科」,「国語」,「地理歴史, 公民」,「情報」】の計3教科で出願すること

① 3教科の合計得点率が「65% (195点) 以上」の者。

・大学入学共通テストの「数学」,「理科」,「地理歴史, 公民」において2出題科目を受験した場合は、それぞれ高得点の科目を判定対象とする。

② 3教科(4科目)の段階表示*全てが「5段階以上」の者。

*段階表示 大学入試センターが2025年1月24日(金)〔予定〕にWEBサイトにて公表する科目別得点等の換算値で1~9の9段階で評価

■「科目別得点」を「スタナイン(Stanine)」という方式を用いて、9段階に換算。

スタナインとは分位点による区分法の一つであり、受験者を得点順におおよそ4、7、12、17、20、17、12、7、4%の群に分割し、科目別得点を得点の低い方から順に1から9の9段階に換算する方式。

■段階表示は「科目別得点」に対して行われる。

・「英語」についてはリーディング、リスニング別に段階表示が示されることから、いずれも5段階以上であること。

・「国語」は出題分野別(「近代以降の文章」「古典」)に段階表示が示されないことから、「近代以降の文章」の得点(110点満点を200点に換算)を「国語」の段階表示に当てはめるものとする。

・「数学」,「地理歴史, 公民」,「理科」において2出題科目を受験した場合は、それぞれ段階表示の高い科目を評価対象とする。

【外国語】

スタナイン見本 (昨年度例)

英語 (リーディング)	
段階	点数範囲
9段階	87 ~ 100
8段階	78 ~ 86
7段階	68 ~ 77
6段階	57 ~ 67
5段階	45 ~ 56
4段階	34 ~ 44
3段階	26 ~ 33
2段階	20 ~ 25
1段階	0 ~ 19

英語 (リスニング)	
段階	点数範囲
9段階	93 ~ 100
8段階	89 ~ 92
7段階	82 ~ 88
6段階	74 ~ 81
5段階	63 ~ 73
4段階	53 ~ 62
3段階	44 ~ 52
2段階	36 ~ 43
1段階	0 ~ 35

選考方法 以下項目にて、指定教科数を受験した者を判定する。

利用教科と科目

教科・科目とその評価【①得点 ②段階表示】			配点	判定
必須教科	数学	『数学I』、『数学I,数学A』、『数学II,数学B,数学C』から1出題科目の ①得点 ②段階表示を評価	各 100点	①合計得点 3教科の合計得点率が65%(195点)以上であること または ②段階表示 各科目の段階表示全てが5段階以上であること
	外国語	『英語(リーディング,リスニング)』の ①合計点(100点換算) または 『英語(リーディング,リスニング)』それぞれの出題範囲の ②段階表示を評価 *他の言語科目は不可		
選択1教科	理科	『物理基礎/化学基礎/生物基礎(2出題範囲を選択解答する)』、『物理』、『化学』、『生物』から1出題科目の ①得点 ②段階表示を評価		
	国語	①近代以降の文章 の得点(110点満点)を100点に換算した得点 ②近代以降の文章 の得点(110点満点)を200点に換算し、『国語』の段階表示に当てはめた評価		
	地理歴史,公民	『地理総合,地理探究』、『歴史総合,日本史探究』、『歴史総合,世界史探究』、『公共,倫理』、『公共,政治・経済』、『地理総合/歴史総合/公共(2出題範囲を選択解答する)』から1出題科目の ①得点 ②段階表示を評価		
	情報	『情報I』の ①得点 ②段階表示を評価		

- 上記教科・科目の ①合計得点 または ②段階表示 により判定を行う
- 旧教育課程履修者の「大学入学共通テスト」に係る選択科目についてはp36を参照すること。

その他

- ・追加合格について
合格者の入学手続き状況によって、前期共通テスト利用(S)・(A)にて追加合格を実施する場合がある。詳細はp36を参照すること。

出願方法

WEB出願でのみ受付。本誌p6-9に記載の要領に沿って出願すること。

入学検定料

20,000円
共通テスト利用における複数学科の志願や共通テスト利用(B)受験でも追加検定料必要無し。
詳細はp40の「入学検定料割引制度」を参照。
なお、入学検定料は各出願締切日までに納付のこと。(営業時間はコンビニエンスストアやATMなど、施設によって異なる)

出願書類 p4「出願について」を確認すること

- 出願登録、入学検定料の支払い後にダウンロードできる書類(WEB志願票、宛名シート)を印刷し、以下の書類を宛名シートを貼付した封筒に入れ、各提出締切日までに簡易書留速達で送付のこと。
- ・WEB志願票 令和7共通テスト成績請求票(私立大学用)、顔写真(4×3cm)を貼り付けること。
 - ・調査書 高等学校長が作成し、厳封したもの。既卒者は成績証明書も可。
高等学校卒業程度認定試験の合格(見込)者は「合格(見込)成績証明書」を提出のこと。
*複数の種別で出願する場合でも、一度の送付につき調査書は1通で可。
 - ・活動報告書(任意) 本学所定の用紙-様式B
 - ・令和7年度大学等奨学生採用候補者決定通知【提出用】の写し(該当者のみ p39を参照)

受験番号確認票

本学で出願を確認後、各入試毎に出願期間終了後に配信。印刷不要。受験番号を確認すること。

合格者の特典

データサイエンス専攻の合格者は、授業料50万円給費奨学生としての採用となる。
また、前期共通テスト利用出願者のうち、情報学部全体の選抜結果において、成績が最上位の場合には授業料100万円給費奨学生としての採用の可能性もある。
*学年末に更新審査有 詳細はp3を参照。

結果通知

- ・合格者には結果通知日当日、合格通知書(入学手続関係書類含む)を日本郵便のレターパックで送付する。
なお、不合格者には通知しないので注意すること。
- ・給費型奨学生に採用された場合には、その旨と採用区分が合格通知書に記載される。
- ・本学構内での掲示による発表は行わない
- ・合否結果を、スマートフォン、パソコンを利用した「合否案内サービス(PASS-TEL)」でも通知。利用方法についてはp37を参照すること。

受験上の注意

- ・ 受験生は、試験会場への交通所要時間などを事前に確認しておくこと。
- ・ 試験当日は、受験票および写真票（顔写真貼付）を必ず持参すること。忘れた場合や紛失した場合には、受験する会場の会場本部に申し出ること。
- ・ 受験生は、試験開始の20分前までに受験会場の所定の場所に着席し、受験票および写真票を机上に提示すること。
- ・ 携帯電話等は、試験会場に入る前に電源を切ること。なお、時計として使用することもできないので注意すること。
- ・ 筆記用具は、HBより濃い黒鉛筆またはシャープペンシルとプラスチック消しゴムが使用可。
- ・ 定規、コンパス、下敷き、電卓、計算機、辞書機能を備えた時計などの使用は認めない。
- ・ 試験会場内では監督者、係員の指示に従うこと。
- ・ 試験開始後、30分を越える遅刻者は入室できない。
- ・ 試験開始後は終了まで退室できない。
- ・ 試験時間が午後までかかる入学者選抜の場合は昼食を持参すること。
- ・ 受験生に対する宿泊施設等の斡旋は行わないので、各自で手配すること。
- ・ 下足のままで入室可能なため、スリッパ等上履きの用意はしなくて良い。

旧教育課程履修者の令和7年度大学入学 共通テストに係る選択科目について

「数学」、「地理歴史、公民」、「情報」については、次の出題科目を利用できるものとする。

● 理工学部

共通テスト教科	出題科目
数 学	『旧数学I・旧数学A』、『旧数学I』、『旧数学II・旧数学B』、『旧数学II』
情 報	『旧情報』

● 情報学部（データサイエンス専攻含む）

共通テスト教科	出題科目
数 学	『旧数学I・旧数学A』、『旧数学I』、『旧数学II・旧数学B』、『旧数学II』、『旧簿記・会計』、『旧情報関係基礎』
地理歴史、公民	『旧世界史A』、『旧世界史B』、『旧日本史A』、『旧日本史B』、『旧地理A』、『旧地理B』、『旧現代社会』、『旧倫理』、『旧政治・経済』、『旧倫理、旧政治・経済』
情 報	『旧情報』

追加合格について

合格者の入学手続状況により、追加合格を行う場合がある。

行う場合は「追加合格者」として、合格通知書および入学手続関連書類を出願登録された「志願者住所」宛に送付する。また、追加合格の発表状況を本学受験生サイト上で公表する（受験番号や氏名は発表しない）。

■追加合格通知日 2025年3月15日（土）

対象となる選考：一般前期（A）・（B）、一般前期（A）共通テストプラス・（B）共通テストプラス、
前期共通テスト利用（S）・（A）・（B）

合否案内サービス (PASS-TEL) について

合否結果を、スマートフォン、パソコンを利用した「合否案内サービス」でお知らせします。詳細については以下の通りです。

□ 合否案内サービス利用方法

このサービスはインターネットで合否結果を照会するシステムです。

(1) インターネットによる照会

- ① スマートフォンまたは、パソコンをご利用ください。(機種条件により利用できない場合があります。事前確認をお願いします。)
- ② 照会は「受験番号」と「暗証番号(誕生日の月日4桁)」を使用します。誕生日はWEB出願時に登録いただいたものが反映されます。

(2) 利用上の注意事項

- ① 受験した学科、受験番号等のお問い合わせにはお答えできませんので、「受験票」や「受験番号確認票」と、この「入学者選抜要項」は合格発表日まで保管してください。また、合否に関する本学への電話等でのお問い合わせも一切受け付けいたしませんのでご了承ください。
- ② 本システムの「誤操作」、「見間違い」等を理由とした入学手続期間終了後の入学手続は認められません。

□ 合否案内サービスを利用できる選考とその期間

選考区分	案内サービス期間
公募制 給費奨学生	2024年12月21日(土)～12月22日(日) 9時～24時(両日とも)
一般前期(A)・(B)	2025年2月15日(土)～2月16日(日) 9時～24時(両日とも)
一般前期(A)・(B) 共通テストプラス 前期共通テスト利用(S)・(A)・(B)	
一般後期(A)・(B)	2025年3月15日(土)～3月16日(日) 9時～24時(両日とも)
一般後期(A)・(B) 共通テストプラス 後期共通テスト利用(A)・(B)	

□ 合否確認方法

ステップ1 URLを入力

<https://www.gouhi.com/sist/>(スマートフォン・パソコン共通)



ステップ2

受験番号を入力

静岡理科大学
受験番号 6桁を
入力して下さい。
よろしいですか?
はい

ステップ3

静岡理科大学
あなたは□□入試
○○学科、受験番号
0000ですね?
よろしいですか?
はい いいえ

ステップ4

誕生日を入力

静岡理科大学
誕生日 4桁を
入力して下さい。
よろしいですか?
はい いいえ

ステップ5

結果表示

静岡理科大学
□□入試 受験番号
0000の方は
○○学科に合格です。
もどる

※図はイメージ図であり、実際の画面とは異なる場合があります。
※すべて確認された方は、切断してください(終了)。

例) 3月5日→0305

入学手続について

合格者には、「合格通知書」「入学手続要項」を郵送するので、熟読のうえ、入学手続期間内に必要な手続を完了すること。
なお、期日までに手続を完了しない場合には、入学を辞退するものとして取り扱う。

*複数の学部学科に合格した場合には、いずれの学科に手続しても差し支えないが、入学手続完了後の変更は原則認めないので注意すること。

- 入学手続書類の提出 郵送に限る（締切日当日消印有効）
- 納付金の納入 指定口座への銀行振込に限る
- 入学手続期間

選考区分	書類・入学金納付期間	授業料等納付期間
公募制 給費奨学生	12月23日(月)～2月25日(火)	12月23日(月)～3月3日(月)

選考区分	書類・入学金納付期間	授業料等納付期間
一般前期 (A)・(B)	2月17日(月)～2月25日(火)	2月17日(月)～3月3日(月)
一般前期 (A)・(B) 共通テストプラス		
前期共通テスト利用 (S)・(A)・(B)		

選考区分	入学手続期間（書類・入学金・授業料等納付金）
一般後期 (A)・(B)	3月17日(月)～3月24日(月)
一般後期 (A)・(B) 共通テストプラス	
後期共通テスト利用 (A)・(B)	

入学金以外の納付金の返還

入学手続完了者で、2025年3月27日までに入学辞退を申し出た者に限り、入学金を除く納付金を返還する。
返還は事務手続きの関係上、4月末日となるので留意すること。詳細については「入学手続要項」を参照のこと。

初年度納付金（2025年度）

納付金の種類	入学金	授業料	計
前期	220,000円	703,500円	923,500円
後期	—	703,500円	703,500円

* 本学の「授業料」には施設設備費や実習費、応用ソフトウェア代が含まれている。

* 給費型奨学生の権利を得たものは、納付費用が変更される。

代理徴収金（2025年度入学生 — 予定額）

後援会費15,750円（1年間分）、学生教育研究災害保険料4,660円（4年間分）の合計20,410円を代理徴収する。

注意事項

一旦提出された入学手続関係書類および入学金は、いかなる理由があっても返還しないので慎重に手続きをすること。

ノートパソコンの購入について

本学では、コンピュータ教育の充実を図るため、新入生全員にノートパソコンを所持していただきます。本学が斡旋する機種を希望する場合は、一括払いか分割払いで購入いただけます。【2024年度入学生一括払い実績額 166,000円（税込）】

本学内における併願のルールについて

- 原則、理工学部と情報学部の同日併願はできない。(共通テスト利用を除く)
ただし、一般後期 (A)、一般後期 (A) 共通テストプラスでは、理工学部 5 学科と情報学部への複数併願可。
- 一般前期 (A)、一般前期 (A) 共通テストプラスでは、一日の受験で理工学部内の 5 学科で併願可。
但し、共通テストプラスは同時期の一般前期 (A) で出願している学科にしか併願はできない。
- 一般前期 (B)、一般前期 (B) 共通テストプラス、一般後期 (B)、一般後期 (B) 共通テストプラスでは出願できるのは 1 学科のみ。(但し前期については異なる日にちであれば複数学科出願可)
- 次の【 】内の組合せでは同日受験できない(前期については異なる日にちであれば併願可)。
【一般前期 (A) と一般前期 (B)】、【一般後期 (A) と一般後期 (B)】

入学検定料割引制度 (複数受験割引)

本学では、受験に掛かる費用の負担軽減を鑑み、入学検定料の割引制度を導入。
本学における初めての入学選考出願後、以降の選考への出願や同時期での別日程や複数学科への出願をした場合などに「**本学試験グループ**」で入学検定料が 5,000 円に割引かれる制度や「**共通テスト利用グループ**」で追加検定料が必要ない制度を設置。詳細については、以下を確認のこと。

□ 入学検定料 (基本)

■ 選考区分「本学試験グループ」 初回出願 30,000 円 (2つ目以降の出願は 5,000 円に割引)

【該当する選考】

総合型選抜、指定校推薦、専門高校・総合学科給費奨学生推薦、公募制一般推薦、公募制自己推薦、
公募制 給費奨学生、

一般前期 (A)、一般前期 (B)、一般後期 (A)、一般後期 (B)、
一般前期 (A) 共通テストプラス、一般前期 (B) 共通テストプラス、
一般後期 (A) 共通テストプラス、一般後期 (B) 共通テストプラス

※詳細は受験生サイト (<https://navi.sist.ac.jp/exam/support/fee/>) を参照のこと。

■ 選考区分「共通テスト利用グループ」 20,000 円で複数学科・複数回の受験可能 (2つ目以降の出願は追加検定料無し)

【該当する選考】

前期共通テスト利用 (S)、前期共通テスト利用 (A)、前期共通テスト利用 (B)
後期共通テスト利用 (A)、後期共通テスト利用 (B)

* 「本学試験グループ」と「共通テスト利用グループ」では、それぞれのグループ毎に出願をカウントします。

出願例 1 「本学試験グループ」のみの組み合わせ

【初 回】一般前期 (A) 2月2日出願 機械工学科 ー通常 30,000 円

【2つ目】一般前期 (A) 2月2日出願 建築学科 ー通常 30,000 円 → 5,000 円に割引

出願例 2 「共通テスト利用グループ」のみの組み合わせ

【初 回】前期共通テスト利用 (A) 情報学部 ー通常 20,000 円

【2つ目】前期共通テスト利用 (A) 電気電子工学科 ー通常 20,000 円 → 追加検定料無し

出願例 3 「本学試験グループ」と「共通テスト利用グループ」の組み合わせ

【初 回】一般前期 (A) 2月3日出願 物質生命科学科 ー通常 30,000 円

【2つ目】一般後期 (A) 3月5日出願 物質生命科学科 ー通常 30,000 円 → 5,000 円に割引

【初 回】前期共通テスト利用 (A) 物質生命科学科 ー通常 20,000 円

【2つ目】後期共通テスト利用 (A) 物質生命科学科 ー通常 20,000 円 → 追加検定料無し

□ 「共通テスト利用グループ」 複数学部・学科出願割引
(入学検定料 20,000円で複数学科への出願や複数回の受験が可能)

一回の選考で、理工学部5学科と情報学部の複数学部・学科に出願でき、それぞれに合否判定を行う。
追加の検定料無しで複数学科・複数回の受験が可能。

- 対象選抜種別 前期共通テスト利用 (S)、前期共通テスト利用 (A)、前期共通テスト利用 (B)、後期共通テスト利用 (A)、後期共通テスト利用 (B)
- 対象学部学科 理工学部5学科、情報学部 (学部一括募集)、データサイエンス専攻 で組み合わせ可

事例：前期共通テスト利用 (A) に機械工学科を第1志望、電気電子工学科を第2志望で出願
前期共通テスト利用 (B) に土木工学科で出願

学部	理工学部					情報学部	
学科	機械工学科	電気電子工学科	物質生命科学科	建築学科	土木工学科	学部一括募集	データサイエンス専攻
前期共通テスト利用	● (A)	○ (A)			○ (B)		
20,000円							

● 1 学科目の出願 ○ 2 学科目以降の出願

□ 「本学試験グループ」 同日併願・同時期出願割引 (入学検定料 5,000円に割引)

■ 一日の受験で理工学部の複数学科に出願でき、それぞれに合否判定を行う。

1学科目は30,000円、2学科目以降の検定料は割引かれ、5,000円になる。

- 対象選抜種別 一般前期 (A)、一般前期 (A) 共通テストプラス
- 対象学部学科 理工学部5学科 で組み合わせ可

事例①：一般前期 (A) 2月1日に電気電子工学科を第1志望、物質生命科学科を第2志望で出願
一般前期 (A) 2月2日に電気電子工学科に出願
一般前期 (A) 2月3日に電気電子工学科を第1志望、機械工学科を第2志望で出願

学部	理工学部					情報学部
学科	機械工学科	電気電子工学科	物質生命科学科	建築学科	土木工学科	
2月1日		● 一般前期 (A) 30,000円	○ 一般前期 (A) 5,000円			
2月2日		○ 一般前期 (A) 5,000円				
2月3日	○ 一般前期 (A) 5,000円	○ 一般前期 (A) 5,000円				

● 1 学科目の出願 ○ 2 学科目以降の出願

■ 一日の受験で全学部学科に出願でき、それぞれに合否判定を行う。

1学科目は30,000円、2学科目以降の検定料は割引かれ、5,000円になる。

- 対象選抜種別 一般後期 (A)、一般後期 (A) 共通テストプラス
- 対象学部学科 理工学部5学科、情報学部 (学部一括募集) で組み合わせ可

事例②：一般後期 (A) に電気電子工学科を第1志望、情報学部を第2志望で出願、
一般後期 (A) 共通テストプラスに電気電子工学科で出願

学部	理工学部					情報学部
学科	機械工学科	電気電子工学科	物質生命科学科	建築学科	土木工学科	
一般後期 (A)		● 30,000円				○ 5,000円
一般後期 (A) 共通テストプラス		○ 5,000円				

● 1 学科目の出願 ○ 2 学科目以降の出願

□ 「本学試験グループ」同時期併願出願割引（入学検定料 5,000円に割引）

■ 3日間の日程のうち2日間以上の受験で、理工学部5学科と情報学部に出願でき、それぞれに判定を行う。ただし、同日併願はできない。

1 学科目は30,000円、2 学科目以降の検定料は割引かれ、5,000円になる。

- 対象選抜種別 一般前期 (B)、一般前期 (B) 共通テストプラス
- 対象学部学科 理工学部5学科、情報学部（学部一括募集）で組み合わせ可

事例①：一般前期 (B) 2月1日に建築学科で出願、一般前期 (B) 2月2日に土木工学科で出願、
一般前期 (B) 2月3日に情報学部で出願

学部	理工学部					情報学部
学科	機械工学科	電気電子工学科	物質生命科学科	建築学科	土木工学科	
2月1日				● 一般前期 (B) 30,000円		
2月2日					○ 一般前期 (B) 5,000円	
2月3日						○ 一般前期 (B) 5,000円

● 1 学科目の出願 ○ 2 学科目以降の出願

■ 3日間の中で、理工学部と情報学部を跨いで出願する場合は、日程が重ならないように出願することで、それぞれに合否判定を行う。

1 学科目は30,000円、2 学科目以降の検定料は割引かれ、5,000円になる。

- 対象選抜種別 一般前期 (A)、一般前期 (B)、一般前期 (A) 共通テストプラス、一般前期 (B) 共通テストプラス
- 対象学部学科 理工学部5学科、情報学部（学部一括募集）で組み合わせ可

事例②：一般前期 (A) 2月1日に情報学部で出願、一般前期 (B) 2月2日に情報学部で出願、
一般前期 (A) 2月3日に建築学科で出願

学部	理工学部					情報学部
学科	機械工学科	電気電子工学科	物質生命科学科	建築学科	土木工学科	
2月1日						● 一般前期 (A) 30,000円
2月2日						○ 一般前期 (B) 5,000円
2月3日				○ 一般前期 (A) 5,000円		

● 1 学科目の出願 ○ 2 学科目以降の出願

事例③：一般前期 (A) 2月1日に建築学科を第1志望、土木工学科を第2志望で出願

一般前期 (B) 2月2日に建築学科で出願、一般前期 (A) 2月3日に情報学部で出願

一般前期 (A) 共通テストプラスに土木工学科、一般前期 (B) 共通テストプラスに建築学科で出願

学部	理工学部					情報学部
学科	機械工学科	電気電子工学科	物質生命科学科	建築学科	土木工学科	
2月1日				● 一般前期 (A) 30,000円	○ 一般前期 (A) 5,000円	
2月2日				○ 一般前期 (B) 5,000円		
2月3日						○ 一般前期 (A) 5,000円
前期共通テストプラス				○ (B) 5,000円	○ (A) 5,000円	

● 1 学科目の出願 ○ 2 学科目以降の出願

建学の精神と基本理念

本学は、学校法人静岡理工科大学の建学の精神「技術者の育成をもって地域社会に貢献する」に基づき、理念を次のように定めています。

豊かな人間性を基に、「やらまいか精神と創造性」で地域社会に貢献する技術者を育成する。

(注)「やらまいか」とは遠州地域の方言で「一緒にやってみよう」という意味で、進取の気性に富み、チャレンジ精神が旺盛な遠州人の気質を表現している言葉です。

○大学の目的

本学はこの理念に基づき、大学の学則でその目的を次のように定めています。

「本学は、学校教育法及び教育基本法に基づき、科学・技術に関する学術を研究教授し、国際的視野と技術者としての使命感を持った向上心溢れる人材の育成、及び実践的創造的研究により社会に貢献することを目的とする」

○3つのポリシー

使命・目的を達成するための具体的な方策として、大学全体・各学部・学科における3つのポリシーを次のように定めています。

静岡理工科大学 アドミッションポリシー(AP、入学者受入れの方針)

□ 大学全体

知識・理解 理工学又は情報学を学ぶために必要な基礎学力を有している。
思考・判断 物事を多面的に考察し、自らの考えを論理的にまとめることができる。
関心・意欲 理工学又は情報学の分野に興味をもち、自らチャレンジしようとする意欲を有している。
態度 主体的に学び、創造する姿勢を有する。
技能・表現 自らの考えを口頭表現や文章表現によって伝えることができる。

□ 理工学部

知識・理解 理工学を学ぶために必要な基礎学力を有している。
思考・判断 物事を多面的に考察し、自らの考えを論理的にまとめることができる。
関心・意欲 理工学の分野に興味をもち、自らチャレンジしようとする意欲を有している。
態度 主体的に学び、創造する姿勢を有する。
技能・表現 自らの考えを口頭表現や文章表現によって伝えることができる。

機械工学科

知識・理解 機械工学を学ぶために必要な基礎学力を有している。
思考・判断 物事を多面的に考察し、自らの考えを論理的にまとめることができる。
関心・意欲 機械工学の分野に興味をもち、未知の領域にチャレンジしようとする意欲と熱意を有している。
態度 主体的、実践的に知識および技術を学ぶ姿勢を有する。
技能・表現 自らの考えを口頭表現や文章表現によって伝えることができる。

電気電子工学科

知識・理解 電気電子工学を学ぶために必要な基礎学力を有している。
思考・判断 物事を多面的に考察し、自らの考えを論理的にまとめることができる。
関心・意欲 電気電子工学の分野に興味をもち、未知の領域にチャレンジしようとする意欲と熱意を有している。
態度 主体的、実践的に知識および技術を学ぶ姿勢を有する。
技能・表現 自らの考えを口頭表現や文章表現によって伝えることができる。

物質生命科学科

知識・理解 物質生命科学を学ぶために必要な基礎学力を有している。
思考・判断 物事を多面的に考察し、自らの考えを論理的にまとめることができる。
関心・意欲 物質生命科学の分野に興味をもち、未知の領域にチャレンジしようとする意欲と熱意を有している。
態度 主体的、実践的に知識および技術を学ぶ姿勢を有する。
技能・表現 自らの考えを口頭表現や文章表現によって伝えることができる。

建築学科

知識・理解 建築学を学ぶために必要な基礎学力を有している。
思考・判断 物事を観察・考察し、創造的な思考と判断ができる。
関心・意欲 諸領域に関心をもち、新しい知識や技術を持続的に学ぶ意欲を有している。
態度 倫理観や責任感を有し、他分野への協調性を有する。
技能・表現 図面等や口頭表現を通して自らの提案を他者にきちんと伝えることができる。

土木工学科

- 知識・理解 土木工学を学ぶために必要な基礎的な学力を有している。
- 思考・判断 物事を多面的に考察し、自らの考えを論理的にまとめることができる。
- 関心・意欲 諸領域に関心をもち、新しい知識や技術を持続的に学ぶ意欲を有している。
- 態度 主体的、実践的に知識および技術を学ぶ姿勢を有する。
- 技能・表現 自らの考えを口頭表現や文章表現によって伝えることができる。

情報学部

- 知識・理解 情報学を学ぶために必要な基礎学力を有している。
- 思考・判断 情報処理の流れや、情報と社会との関係性について論理的に考えることができ、課題や間違いを見つけることができる。
- 関心・意欲 情報学の分野に興味をもち、自ら企画、設計、開発、課題解決する意欲を有している。
- 態度 自ら情報検索して疑問点を解決し、試行錯誤して制作・実践する主体的態度を有する。
- 技能・表現 自らの意図を口頭表現や文章表現で他人に説明することができる。

コンピュータシステム学科

- 知識・理解 ソフトウェア、セキュリティ、ネットワーク、情報数理を学ぶために必要な基礎学力を有している。
- 思考・判断 情報処理の流れを論理的に追うことができ、間違いを見つけることができる。
- 関心・意欲 コンピュータシステムの分野に興味をもち、自ら設計、開発する意欲を有している。
- 態度 自ら書籍やネットで疑問点を解決し、試行錯誤して制作する主体的態度を有する。
- 技能・表現 自らの意図をシステム化し、口頭表現や文章表現で他人に説明することができる。

コンピュータシステム学科 データサイエンス専攻

- 知識・理解 データサイエンスを学ぶために必要な基礎学力を有している。
- 思考・判断 情報処理の流れを論理的に追うことができ、課題を見つけることができる。
- 関心・意欲 広く社会や科学の分野に興味をもち、地域社会や国内外の問題解決に貢献したいと考えている。
- 態度 自ら情報を収集することで疑問点を解決し、試行錯誤して問題解決を図ろうとする主体的態度を有する。
- 技能・表現 自らの意図を適切な手法で主体的に多様な人々に説明することができる。

情報デザイン学科

- 知識・理解 コンピュータのしくみや、コンピュータと人間・社会の関係を学ぶために必要な基礎学力を有している。
- 思考・判断 情報処理の流れや、情報と社会との関係性について論理的に考えることができる。
- 関心・意欲 情報やコンピュータに興味をもち、社会での活用法について自ら企画、開発する意欲を有している。
- 態度 自ら書籍やネットで疑問点を解決し、自らの考え・企画を実践する主体的態度を有する。
- 技能・表現 自らの意図・企画を口頭表現や文章表現で他人に説明することができる。

カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）

大学全体

静岡理工科大学の建学の精神と理念、大学の目的に基づいて、全学、各学部、および各学科の卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）に掲げる能力を身につけるために、必要な科目を系統立てて教育課程の編成を行い、実践する。

理工学部

- (1) 研究者もしくは技術者としての確かな社会人基礎力を育成するために、I類科目群（人間・文化科目）とII類科目群（専門基礎科目）を設置する。
- (2) 各学科の特有で専門的な知識を体系的に学び、技能・技術の向上のために学科別のIII類科目群（学科専門科目）を設置する。
- (3) 科目間の「つながり」を明確化し、系統だったカリキュラムを編成する。
- (4) 主体的な学びの姿勢を身につけ、「知識・理解」、「思考・判断」、「関心・意欲」、「態度」、「技能・表現」を養い、知識やスキルを統合して問題解決につなげていく能力や姿勢を育成する。そのために、I類、II類、III類を通して実験や討論などを実践的に行うPBLの授業を展開すると共に、学生生活においても、主体性や問題解決能力を培うことが可能な生活環境を設定する。
- (5) 入学から卒業に至る全期間を通して、プログラム化されたキャリア形成教育を実施する。
- (6) 国際的視野を培うため、外国語および外国文化の教育を系統的に実施する。

機械工学科

機械工学の基礎（四力学、加工、材料）を理解し、さらに「ものから入る教育」を通して設計・解析・製作・評価の実践のプロセスが身につくカリキュラムを編成する。

電気電子工学科

- ・電気に関する基礎学力を身につけた学生を育てるため習熟度別クラス編成を行う。
- ・「電気主任技術者」などの資格取得が可能なカリキュラムを編成する。

物質生命科学科

基礎教育科目の徹底的な理解を求めため、多くの科目を必修にする。また、学科特有の資格に加えて高等学校教諭一種免許状（理科）を取得可能なカリキュラムを編成する。

建築学科

- (1) 建築には、建築計画・意匠、建築構造、建築環境・設備、建築材料・建築生産といった領域に加え、都市的スケールに及ぶ理解が求められる。
- (2) 上記(1)の統合の上に成立する「建築」を創造するための科目を配置し、一級建築士・二級建築士などの資格取得ができるカリキュラムを編成する。

土木工学科

- (1) 土木工学の諸分野（構造・材料・地盤・水理・計画・環境）を体系的に学ぶカリキュラムを編成する。
- (2) 主体的に地域・社会の課題を発見し、他者と連携して課題解決に取り組む実践力を養うためのプロジェクト科目を配置する。

□ 情報学部

- (1) 研究者もしくは技術者としての確かな社会人基礎力を育成するために、I類科目群（人間・文化科目）とII類科目群（専門基礎科目）を設置する。
- (2) 各学科の特有で専門的な知識を体系的に学び、情報を収集・分析・加工・表現・伝達・発信する力の向上のために学科別のIII類科目群（学科専門科目）を設置する。
- (3) 科目間の「つながり」を明確化し、系統だったカリキュラムを編成する。
- (4) 主体的な学びの姿勢を身につけ、「知識・理解」、「思考・判断」、「関心・意欲」、「態度」、「技能・表現」を養い、知識やスキルを統合して問題解決につなげていく能力や姿勢を育成する。そのために、I類、II類、III類を通して実習・演習や討論などを実践的に行うPBLの授業を展開すると共に、学生生活においても、主体性や問題解決能力を培うことが可能な生活環境を設定する。
- (5) 入学から卒業に至る全期間を通して、プログラム化されたキャリア形成教育を実施する。
- (6) 国際的視野を培うため、外国語および外国文化の教育を系統的に実施する。

コンピュータシステム学科

- ・コンピュータ自身やその理論に関してより深く学ぶことができる科目を配置する。
- ・高等学校教諭一種免許状（情報・数学）を取得可能なカリキュラムを編成する。

コンピュータシステム学科 データサイエンス専攻

- ・1年次は情報コミュニケーション技術（ICT）についての幅広い理解を中心にデータサイエンスの基礎となる数理分野の理解とデータサイエンスを応用するために必要な幅広い教養を高めていく。
- ・2年次以降はプログラミング、数学などのデータサイエンススキル修得に欠かせない専門能力の修得と理解を進めていく。
- ・実社会への活用を前提に企業と連携した実習、実践演習を行なっていく。またベンダー系外部カリキュラムも積極的に活用していく。
- ・グローバル社会への対応力を育成するために海外研修を積極的に実施していく。

情報デザイン学科

学生の興味・適性に応じ、情報学のより広い分野（特に、人間の生理、心理、社会に関係する分野）に関する知識を選択修得可能なカリキュラムを編成する。

ディプロマポリシー（DP、学位授与の方針）

□ 大学全体

- 知識・理解 理工学又は情報学についての基礎・専門知識・技能をもち、様々な場面で活用することができる。
- 思考・判断 ものごとを論理的・創造的に考え、社会の多様化、複雑化、国際化に対応しつつ、適切に判断することができる。
- 関心・意欲 理工学又は情報学を学ぶ過程で修得したスキルや挑戦的な姿勢のもと、自主的、主体的、実践的に行動することができる。
- 態度 他者と協働しつつ、主体的・自律的に学修・課題解決をすることができる。
- 技能・表現 理工学又は情報学を学ぶ過程で修得したスキルを活かして、自らの思考などを、適切な手法で表現・発信することができる。

□ 理工学部

- 知識・理解 理工学（機械工学、電気電子工学、物質生命科学、建築学、土木工学）の一分野についての基礎・専門知識をもち、技術および技能をものづくりやことづくりに活用することができる。
- 思考・判断 社会の多様化、国際化、複雑化する課題に対して探求心をもちつつ、論理的、創造的な思考ができる。
- 関心・意欲 「ものづくり」、「ことづくり」に挑戦する力のもとで自主的、主体的、実践的に行動することができる。
- 態度 教養・専門知識を修得するため計画的、継続的、自律的に学修をする向上心をもつことができる。
- 技能・表現 発信力（コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力）と傾聴力を修得し、自らの思考・判断のプロセスを説明することができる。

機械工学科

- 知識・理解 機械工学に関する専門知識と技術を修得し、それらの知識と技術をものづくり活動に応用できる。また、機械工学分野における設計・図面化・加工・組み立て・評価といったものづくり活動に欠かせない技術を身につける。
- 思考・判断 社会の発展に機械工学が果たしている役割を充分理解し、従事している仕事から課題を常に見つけ、高い企画力と行動力をもって、積極的に課題解決に取り組むことができる。
- 関心・意欲 科学・技術の進歩と社会ニーズの変化に常に関心を持ち、自律的かつ継続的に新しい知識を学ぶ向上心・意欲をもつことができる。
- 態度 機械工学技術者としての倫理観や責任感を持ちながら、それを組織活動でも活かせるべく協調性・リーダーシップ等の人間性・態度を身につけることができる。またグローバルな視点で海外の人・組織と関わる態度を身につけることができる。
- 技能・表現 機械工学の方法論に基づき、自らの論理的な思考・判断のプロセスや結果を説明するためのプレゼンテーション能力とコミュニケーション能力をもつことができる。

電気電子工学科

- 知識・理解 電気回路・電子回路の基礎を理解し、ハードウェアとソフトウェア両面からの回路設計やシステム設計などのものづくりを創造的に行うことができる。
- 思考・判断 電気電子工学が社会の発展に対して果たしている役割を充分理解し、光応用技術、情報・通信技術、制御・システム技術、電力・エネルギー技術を用いて課題解決のための根源的、論理的な思考判断を行うことができる。
- 関心・意欲 常にチャレンジ精神を持ち、問題解決のための知識修得・学修を自主的、実践的に行うことができる。また、電気電子分野の資格取得にチャレンジすることができる。
- 態度 主体的、実践的に身につけた電気電子工学の知識および技術を通じて、地域・社会のニーズに応えることができる。
- 技能・表現 電気電子工学の方法論に基づき、自らの考えを口頭表現や文章表現によって伝えることができる。

物質生命工学科

- 知識・理解 化学を中心に物理学や生化学、分子生物学に関する素養を身につけ、生命科学・食品科学・材料科学・環境科学・エネルギー科学などのいずれかの分野の知識に基づいて考えることができる。
- 思考・判断 科学・技術と自然・環境との調和を理解することで現在の課題を発見し、未来を創造することができる。
- 関心・意欲 自ら環境・生活・生命・安全に関わる諸問題を解決するための専門知識を求め、自主的に課題に取り組むことができる。
- 態度 環境・生活・生命・安全に関する地域や社会のニーズに柔軟に対応し、かつ倫理的に行動することができる。
- 技能・表現 物質生命工学における方法論に基づき、自らの思考や判断過程を効果的に説明することができる。

建築学科

- 知識・理解 建築計画・意匠、建築構造、建築環境・設備、建築材料・建築生産の個々の分野における広範な基礎知識と高度な専門知識を有し、個々の分野を統合しうる技術をもつ人材として、とりわけ地域固有の気候、風土や文化などを活かした都市・建築空間の創造に寄与することができる。
- 思考・判断 建築／都市／地域のスケールを横断し、創造的な思考と判断ができる。
- 関心・意欲 建築学は他領域との関連が高く、扱う領域も広いいため、諸領域への関心を高くもち、かつ持続的に新しい知識を得る意欲をもつことができる。
- 態度 建築技術者として、倫理観や責任感を有し、同分野の人のみならず他領域・他分野の人とも高い協調性をもつことができる。地域や社会のニーズに対し想像力のある回答をすることができる。
- 技能・表現 自らの提案を他者・社会にプレゼンテーションする、あるいは発注者・利用者・技術者などプロジェクト関係者との意思疎通を図る、などのコミュニケーション能力をもつことができる。

土木工学科

- 知識・理解 人文・社会分野を含む多様な知識とそれらの有機的なつながりを理解し、また、数学・自然科学および情報技術に関する知識、土木工学および防災工学分野における専門知識をもち、実践の場でそれらを活用することができる。
- 思考・判断 教養・専門知識を基に多面的に物事を考える能力とその素養を身につけ、さらにそれらを応用して自らの思考で判断することができる。また、与えられた制約の下で論理的な思考・判断のもと計画的に仕事を進めることができる。
- 関心・意欲 主体的かつ継続的に地域社会に関心を持ち、課題を発見し、土木工学および防災工学分野の科学、技術並びに情報を活用して、地域社会の課題を解決するための計画的な調査・分析および解決策の立案ができる。

- 態度 技術が社会や自然に及ぼす影響や効果、および技術者の社会に対する貢献と責任に関して理解している。また、自らが社会の一員であることを自覚するとともに、他者との協働の重要性を認識し、そのための基礎的素養としての倫理観・協調性を身につけ、課題解決遂行に向けて取り組むことができる。
- 技能・表現 論理的な記述力、プレゼンテーション能力および討議等のコミュニケーション能力を身につけ、土木工学の方法論に基づき、自らの考えを口頭表現や文章表現によって伝えることができる。

□ 情報学部

- 知識・理解 コンピュータと人間の感性に対する理解に基づいて、情報科学とICT（情報コミュニケーション技術）に関する深い知識を活用することができる。
- 思考・判断 情報学の専門知識、高度情報社会の倫理、および普遍的かつ国際的な価値基準をふまえて、ものごとを論理的に考え、適切に判断することができる。
- 関心・意欲 問題意識と進取の精神をもってものごとを実践し、内省しつつ自らを継続的に向上させることができる。
- 態度 豊かな感受性と知的な創造性の発揮に向けて、主体性をもって他者と協働し、課題に取り組むことができる。
- 技能・表現 情報学から得た技術・技能と態度を活かして情報を収集し、自らの思い・考えを様々なシステムやコンテンツに表現し、発信することができる。

コンピュータシステム学科

- 知識・理解 ICTと人間の感性が調和する高度情報社会の実現のために、コンピュータ技術、情報数理、サイバーセキュリティなどについての深い知識を活用することができる。
- 思考・判断 周囲の環境、技術者倫理や社会的責任等を総合的に判断して問題を提起し、数理的な論理思考力を駆使して解決に導くことができる。
- 関心・意欲 次世代情報技術への強い関心およびものごとへのチャレンジ精神を有し、学業や課外活動において自らをキャリアアップさせることができる。
- 態度 豊かな感受性と創造性を併せもち、自らの成長に努力を惜しまず、何事にも主体的かつ継続的に取り組むことができる。
- 技能・表現 情報学の総合的な技能を活かして、広く情報を収集し、自らの意見や思考プロセスをわかりやすく的確に表現し、情報を発信することができる。

コンピュータシステム学科データサイエンス専攻

- 知識・理解 情報科学の専門的技術・知識を活用して、ICTと人間の感性が調和する高度情報社会の実現のために、現実社会が抱える課題を、数理的な法則・関係を見抜くことで解決する能力を獲得している。
- 思考・判断 グローバルな視点から、データサイエンスにかかる課題を周囲の環境、技術者倫理や社会的責任等を総合的に判断して問題を提起し、数理的な論理思考力を駆使して解決に導くことができる。
- 関心・意欲 次世代情報技術への強い関心およびものごとへのチャレンジ精神を有し、高い専門性と幅広い教養や視野に基づいて、より良い社会の実現に向け努力するとともに、学業や課外活動において自らをキャリアアップさせることができる。
- 態度 豊かな感受性と創造性を併せもち、自らの成長に努力を惜しまず、身につけたデータから数理的・分析的に考える基礎的能力を活かし、適切な倫理観のもとで、何事にも主体的かつ継続的に課題解決を図る態度を有している。
- 技能・表現 情報学の総合的な技能を活かして、広く情報を収集し、自らの意見や思考プロセスをわかりやすく的確に表現できる。さらに、統計学、機械学習や情報数理を基礎としたデータサイエンス技術を用いて、適切な課題解決策を考案することができる。

情報デザイン学科

- 知識・理解 情報科学とICTの基本を理解するとともに、デジタルアート・メディアデザイン、心理・脳・生命情報、経営・社会システムの3分野のうち1分野以上について深い知識をもち、実践の場でそれらを活用することができる。
- 思考・判断 人間の情報行動をはじめとする情報学への理解および高度情報社会に対する責任感をふまえて、情報コミュニケーション技術の応用について論理的に考え、適切に判断することができる。
- 関心・意欲 探求心とチャレンジ精神を常にもち、価値創造と問題解決のために、学修と実践に傾注することができる。
- 態度 自己の成長と社会への貢献を念頭に置き、主体性をもちつつ他者と協働し、課題遂行に向けて取り組むことができる。
- 技能・表現 情報メディアと人間同士の対面を通じた多様な情報を収集・分析・加工・表現・伝達する力に基づいて、自らの考えを的確に示すことができる。



活動報告書

フリガナ	リコウカ タロウ
氏名	理工科 太郎

*	I	II	III	IV	V	x

受験番号	*
------	---

*印欄には記入しないこと

I 高度な技術や能力を持つ者（資格、検定、免許など）

取得年月	取得資格	認定機関
2023年 6月	情報処理技術者試験 ITパスポート試験	独立行政法人情報処理推進機構
2023年 10月	実用英語技能検定2級	公益社団法人日本英語検定協会
2024年 1月	情報技術検定2級	公益社団法人全国工業高等学校長協会
年 月		
年 月		
年 月		
年 月		
年 月		
年 月		
年 月		
年 月		
年 月		

II 社会的活動を通じて高い評価を得ている者（例：ボランティア活動など）

活動期間	団体名	団体における役職	表彰事項
2022年 8月～2023年 8月	〇〇市社会福祉協議会	グループリーダー	
年 月～ 年 月			
年 月～ 年 月			
年 月～ 年 月			
年 月～ 年 月			

裏面有

Ⅲ 課外活動等さまざまな分野で高い評価を得ている者

(例：発表会，コンテスト，競技会等)

年 月	大会・競技会等の名称	主 催	成績（順位等）
2024年 4月	春季静岡県西部地区〇〇大会男子個人戦	静岡県〇〇〇連盟	〇位入賞
年 月			
年 月			
年 月			
年 月			
年 月			
年 月			
年 月			

Ⅳ その他具体的な事例で示すことのできる特長を持った者

(例：校内活動等で指導的な役割を果たした者等)

年 月	事 項
2022年 8月	海外インターンシップ参加
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	

*上記Ⅰ～Ⅳを証明する資料があれば、そのコピー（A4版サイズ）を同封すること

○記載事項について補足が必要な場合や記載事項以外の活動の様子については以下に記入すること

基本情報技術者試験の取得に向け、放課後学習を続けている。



活動報告書

*	I	II	III	IV	V	×

フリガナ	
氏名	

受験番号	*
------	---

*印欄には記入しないこと

I 高度な技術や能力を持つ者（資格，検定，免許など）

取得年月	取得資格	認定機関
年 月		
年 月		
年 月		
年 月		
年 月		
年 月		
年 月		
年 月		
年 月		
年 月		
年 月		
年 月		
年 月		
年 月		
年 月		

II 社会的活動を通じて高い評価を得ている者（例：ボランティア活動など）

活動期間	団体名	団体における役職	表彰事項
年 月～ 年 月			
年 月～ 年 月			
年 月～ 年 月			
年 月～ 年 月			
年 月～ 年 月			

Ⅲ 課外活動等さまざまな分野で高い評価を得ている者

(例：発表会, コンテスト, 競技会等)

年 月	大会・競技会等の名称	主 催	成績 (順位等)
年 月			
年 月			
年 月			
年 月			
年 月			
年 月			
年 月			
年 月			

Ⅳ その他具体的な事例で示すことのできる特長を持った者

(例：校内活動等で指導的な役割を果たした者等)

年 月	事 項
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	

* 上記Ⅰ～Ⅳを証明する資料があれば、そのコピー (A4版サイズ) を同封すること

○記載事項について補足が必要な場合や記載事項以外の活動の様子については以下に記入すること

個人情報の取扱いについて

①本学における個人情報の保護に関する基本的な考え方

本学では、個人情報が個人の尊厳と権利を保つために重要なものであり、慎重に取り扱われるべきことに鑑み、個人情報の収集、管理、利用、開示、提供のすべてについて、本人の意思が尊重されることが重要であると考えます。そこで、個人情報について、次のとおり取扱うことといたします。

- 1 個人情報保護法などの関連法規を遵守いたします
- 2 教育活動を行うために必要な範囲で個人情報を収集・利用いたします
- 3 個人情報について、本人からの開示、訂正の依頼があった場合は、本人確認を行ったうえで速やかに対応いたします
- 4 個人情報の管理にあたっては細心の注意をもってあたります

②受験時にご提供いただく個人情報について

本学受験に際してご提供いただいた個人情報については、以下の目的に利用し、それ以外の目的には使用いたしません。

- 入学者選抜を行うための資料
- 受験者への結果通知および入学手続関係書類の送付
- 入学決定者の名簿作成およびクラス編成の資料

なお、提供していただく個人情報をもとに個人を特定できないように加工した統計データを作成し、それを教育活動の参考に利用することがありますが、この統計データについては個人情報にはあたりませんのでご承知おきください。

③個人情報の保有期間

受験の際に提供していただく個人情報は、入学される方については入学後も使用いたします。

辞退者および不合格者については、法律に規定された期間(5年)保管した後、廃棄いたします。

静岡理工科大学 入試本部

〒437-8555 静岡県袋井市豊沢 2200-2

TEL.0538-45-0118

受験生サイト <https://navi.sist.ac.jp/>

